事務	象年度「	十八人 2			務事業評	<u>іщ 1X</u>	>一放用	_				様式
	事業 - ド	742		務 治し 業名 治し	山事業				担		農林水産	
		1		乗台 魅力あるま	<u>+</u> ベノn				担が		林務水産	
施領		4	· ·	胚刀めるま 策の推進	5,77,8					話番号	外務クル・ 45-5111	
基本事		2	<i></i>	険箇所の整	女/借					線番号	2361	L
坐个。	会計		炎 子心 3 会計	医回川ヤノエ	± V⊞		□ 単年度	ωн			2001	
予	款	6	農林水	産業費		事業			· 《開始年』	₹ S 37	年度~)
算	項	2	林業費			期間	□期間隔			~	1 12)
科 目	E I	4	治山事			根拠法令・						,
_	コード	742	310			条例等	森林法•地方日	目治法	-			
関連	計画											
. 現状	把握((1)	務事業の	目的と指標	< Do >							
手	段(事務	事業の)概要)						平成2	21年度実績	E E	
_				栽等)により山	山林等の保護を図り、2	公共施設及び	人家等を守					
) ₀										山事業2箇 山事業2箇		
					業費が80万円以上800 k補助70%、住民分担10		かつて、火に該	主	水白水平 11	1四 尹 禾 2 回)	101	
					業費が80万円以上800 は用排水施設の保護・			な活	平成2	22年度計画	Ī	
	分担なし	心収ぐノ	小设 生女	/\$/C0/16/	よ川が小心成りが安	ÆrE2IIa · C v >	/匹/川110/0兵	動			•	
									県単補助治	山事業3箇	所	
									県営県単治	山事業5箇	所	
							I		20年度			
活動	力指標 (事	事務事	業の活動量	<u>ţ</u>)			単位 20年			21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年 <i>。</i> (見込
p 施丁	.箇所数						箇所		2	4	8	(702
<i>7</i> .2.3.2	- EI // I 3A						山 //1		2	1	0	
1												
ウ												
対		、何を		初金	指標 (3対象の)		単位		20年度	21年度	22年度	23年
	X1.	象にして	ているのか)	衣	長す指標)	+四		(実績)	(実績)	(見込)	(見込
ア農地	・施政(追路)・ため池・	:•水路 人家•↓	•例川•建# 山林	勿) 保全対象	数		件		6	12	24	
1												
	図(対	象を どうし	たいのか	成果	指標 (⑤意図の 達成度:	を表す指標)	単位		20年度	21年度	22年度 (見込)	
意	林崩壊地の	どうI D早期	したいのか 復旧により)	達成度	を表す指標)			(実績)	(実績)	(見込)	
カ 意 森村 公益	NA NA	どうI D早期	復旧により)	達成度	を表す指標)	単位件					
カ 意 森村 公益	林崩壊地の	どうI D早期	復旧により)	達成度	を表す指標)			(実績)	(実績)	(見込)	
元 森村	林崩壊地の	どうI D早期	復旧により)	達成度	を表す指標)			(実績)	(実績)	(見込)	23年原
ウ 意 ア _{公益} イ	林崩壊地の 対機能の 単 (ど)	どうI り早期 ^を 回復を しな結	復旧により、 図る。 果に	復旧箇所	遊 成度:	を表す指標) ・ に に に に に に に に に に に に に	件		(実績)	(実績)	(見込)	(見込
京なながっている。	林崩壊地の 対機能の 単 (ど)	どうI り早期 ^を 回復を しな結	復旧により。 図る。	復旧箇所	数 数 应果指標 (⑦結 を)	:果の達成度 表す指標)			(実績)	(実績)	(見込)	(見込
ウ 意 ア _{公益} イ	林崩壊地の 対機能の 単 (ど)	どうり の早期の回復を しな結び付	復旧により 図る。 果に でけるのか)	復旧箇所	海保 達成度 数 2成果指標 (⑦結 を に対する整備済み箇)	:果の達成度 表す指標)	件		20年度	(実績) 4 21年度	8 8 22年度	
カ 意 ア 森 森 イ イ ウ 結	料崩壊地の 的機能の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どうり の早期の回復を しな結び付	復旧により 図る。 果に でけるのか)	復旧箇所 上位 危険箇所	海保 達成度 数 2成果指標 (⑦結 を に対する整備済み箇)	:果の達成度 表す指標)	件 単位		(実績) 2 20年度 (実績)	(実績) 4 21年度 (実績)	(見込) 8 22年度 (見込)	(見込 23年) (見込
カ 意 ア イ イ カ 結 ア 安全	林崩壊地の 的機能の 果 (ど) 性が確保。	どうり の早期の回復を しな結び付	復旧により 図る。 果に でけるのか)	復旧箇所 上位 危険箇所 事進捗率	海保 達成度 数 2.成果指標 (⑦結 を に対する整備済み箇)	乗の達成度 表す指標) 所の割合=工	件 単位 %		(実績) 2 20年度 (実績)	(実績) 4 21年度 (実績)	(見込) 8 22年度 (見込)	(見込 23年) (見込
ウ 意 ア イ ウ 結 ア 安全	林崩壊地の 的機能の 果 (ど) 性が確保。	どう1 り早期 回復を んな結 おび付 される。	復旧により。 図る。 果に けるのか)	復旧箇所 上位 危険箇所 事進捗率	海像 達成度 数	果の達成度 表す指標) 所の割合=エ	件 単位 % 民意見等		20年度 (実績) 52.6	(実績) 4 21年度 (実績) 52.7	(見込) 8 22年度 (見込) 53.0	(見込 23年) (見込 54
ウ 意 ア _{公益} イ	林崩壊地の 的機能の 果 (ど) 性が確保。	どうI ウ早期 回復を んな結 おおび付 される。	復旧により 図る。 果に でけるのか)	復旧箇所 上位 危険箇所 事進捗率	海保 達成度 数 2.成果指標 (⑦結 を に対する整備済み箇)	果の達成度 表寸指標) 所の割合=エ - 歩変化・住 は、いつ頃、 台されたのか	件 単位 % 民意見等 どのような。?		(実績) 2 20年度 (実績)	(実績) 4 21年度 (実績) 52.7 52.7	(見込) 8 22年度 (見込) 53.0 境は、開始変わったの	(見込 23年) (見込 54 台時期) かか?

め、昭和37年7月1日に要綱を制定し、事業が 開始された。 補正予算 予算合計 17,606 22,605 国庫補助金 0 この事務事業に対して誰からどんな意 この事務事業に対する議会から出された 見や要望が寄せられているか? 意見 県支出金 7,770 決算額 森林所有者や市民から治山事業の推進要望 80万以下の復旧工事を検討してほしい。 地方債 0 がある。 1,110 その他 一般財源 7,507

支出合計

16,387

	多事業 ード	742310	事 務 事業名	台山事業					担 当 部 担 当 課	農林水産 林務水産		
	<u> </u>			成21年度 (決	1笛)	立式で	2年度 (当初	ロス質)		23年度(見		
		単位∶千円	単独		合計	半成2 単独	∠午及 (ヨ1) 補助	リプ <i>昇)</i> 合計	単独	(23年及 (兄 補助	合計	
1	報	 M	+324	CATHL	HRI	— 17A	CATHII	HIII	+124	LHITAI	нп	
2	給	料										
3		手当等										
4	共	済 費										
7	賃	金	54	126	180	55	126	181	55	126	181	
8	報	償 費										
9	旅	費										
10	交	際費										
11	需	用 費	59	115	174	223	517	740	223	517	740	
	消		44		124	115	267	382	115	267	382	
	燃	料費	15	35	50	108	250	358	108	250	358	
	食	料費										
		刷製本費										
		熱水費										
	修	繕 料										
40	ζП	務 費				4	0	4	1	0	4	
12	役通	務 費信運搬費				1	3	4	1	3	4	
	坦広	告 選 擬 貸 告 料				1	3	4	1	3	4	
	手											
	保	<u> </u>										
13	委	託料	1,103	535	1,638	192	448	640	192	448	640	
14		科及び賃借料	1,100	000	1,000	102	110	010	132	110	010	
15		請負費	4,751	8,024	12,775	3,734	15,706	19,440	3,734	15,706	19,440	
16		材料費	-,:		,	-,	,		-,:		,	
17		財産購入費										
18		購入費	35	80	115							
19		補助·交付金	1,505		1,505	1,600		1,600	1,600		1,600	
20	扶	助費										
21	貸	付 金										
22	補償補	填及び賠償金										
23	償還金	利子·割引料										
24	投資	及び出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出金	7.505	0.000	10.005	5.005	10.000	00.005	5.005	10,000	22.225	
		計	7,507	8,880	16,387	5,805	16,800	22,605	5,805	16,800	22,605	
				7,770	7,770		14,700	14,700		14,700	14,700	
	地	怎 方 債		1,110	1,110		14,700	14,700		14,700	14,700	
	辺											
財源	過											
内		併特例債										
訳	-	NI 10 1/1 E										
	そ	の他		1,110	1,110		2,100	2,100		2,100	2,100	
			7,507	_	7,507	5,805	,==3	5,805	5,805	,	5,805	
		<u>計</u>	7,507		16,387	5,805	16,800	22,605	5,805	16,800	22,605	
,	ᆂᄜᆓ	国										
f	補助率	県		70'%			70'%			70'%		
補	助	基本額										
平	当 :	初 予 算		1	7,606 千円	平成 21 年度 財源内訳の「その他」の内訳						
成	補	正 予 算				/-	民分担10%					
21	第1			第5回								
	第2			第6回			参加費等	の事業実施	のための収え	\説明		
年	第3			第7回								
度	第4			第8回								
	予:	算 合 計		1	7,606 千円							

	務事業]ード	742310	事 務 事業名	治山事業		担当部 農林水産部 担当課 林務水産課						
2	評価の語	阝 <see></see>				評価			評価理由			
Α	•=0		合性 目的は基本事 果)に結びつく		■ 結びつ □ 見直す				裏地の早期復旧により、公益的機能の回復が図られ、 確保される。			
目的妥当	・このか	?	当性 市が行わなけ、 、達成する目		■ 妥当で		58		設の保護及び市民の安全を確保することは、市の義務 治法)であり、妥当性がある。			
性評価	対象	・意図の妥			■ 適切で □ 対象を	見直す必	必要がある	ため、妥当機能の回	の「公共施設や人家等」は公的及び人命関連施設の 当。「意図」の「森林崩壊地の早期復旧により、公益的 復が図られる」は公共施設の利用促進や市民の安全 るため、妥当。			
В	·成:	・ の向上余 り 果指標の現状 せることができ	値をあるべき	水準まで向	■ 向上余	き地はないに 成果が	l 出ている)		的以上の成果向上余地はない。			
有効性評	・事	務事業を廃止な影響があるた		:場合にどの	■ 影響か			荒廃地。	や危険箇所の増加や被害の拡大が考えられる。			
価	•目		応廃合・連携 ためには、この		□他に手				(他に手段がある場合の事務事業名等) 県単急傾斜地崩壊対策事業等			
	・類(り成	以事業との統 果の向上が期	廃合や連携を 目待できるか?) ハ □ 連携 □ 連携		山の崩壊を防止する治山事業であり、緊急箇所の 検討などで連携はとっているが、対象が異なるため 統廃合はできない。			
C 効	•成:		戻地 事業費を削減 その適正化、住		■ 削減余	は地がない		標準工法	生による整備が原則であり、削減余地は無い。			
率性評価	人作 ・や! を削・成:	り方を工夫して 減できないか		係る業務時間	■ 削減余				等が事業推進員として、サポートしていただくケースも が、事務については職員で対応しているため、削減余 。			
D公平性評価	·事 不少 ·受	業の内容が一 ペマではないか 益者負担が公	平公正になっ	こ偏っていて っているか?	■ 公平··	· ·必要があ	5 3	県を含め、市全域を対象に検討を行い、緊急な箇所から行っているため、公平・公正である。 事業採択の判断の明確化を県に要望する。				
**			長)としての	評価結果		(2)全体	▶総括(振	り返り、反	省点)			
総		l的妥当性 i効性	■ 適切■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必		有効が	いつ適切な	事業である	が、緊急性があるものに対しての早期対応、早期事業			
括]率性 :平性	■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必		採択に	努めたい。					
3 4		う向性 < PL/			75700							
			今後の方向	性			(2)廃止又	ては休止す	「べきとした場合の理由			
	□ 事業□ 有效□ 効率	:]再設定 £統合·連携]性改善(成果	[目的妥 [目 [有 [有上] [有 上 向上] [刻	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	効性⑤の編 の結果] !] !] !]							
	_		·=	的な改善計画	_							
		な改善計画		(1)のチェック								
	平成22:	年度の取組 。	み概要及び	期待される対	加果	平成2	<u>3年度に取</u>	双り組むべ	き具体的な内容			

評価对象	年度	平 成 2	21年度		事務		莱	評	1曲 :	表	< -	-般用 >						様式1
事務事コー		742	112	事 務 事業名	松くし	1虫防防	事業							担担	当当		農林水産部林務水産課	
政策:	名	2	自久	然にやさし	<i>い</i> まち~	づくり								グ	ル -	- ブ	,林務G	
施策:	名	1	自然	然環境の位	呆全									電	話習	手号	45-5111	
基本事	業名	2	森林	木の保全										内	線習	手号	2362	
	会計	一角	2会計						=	**		単年度の	ን					
予 算 科	款	6	農村	木水産業?	費				事期	耒 間		▍単年度繰	返 (開始年	F度	Ī	S	52 年度~)	
异 科	項	2	林美	 と					743	173		期間限定	複数年度			~)	
目	目	2	林美	業振興費					根拠		本材	病害虫等防隙	> 注					
	コード	742	112						条例	列等	水水小小	内音虫等例例	RIZ.					
関連計	一画			•								•					•	
1.現状批	9握	(1)	XI E	業の目的	と指標	< Do	>											

霧島市内景勝地のレクレーションの場に欠かすことのできない公益的機能の高い松林について、 冬期間に健康な松の樹幹に小孔をあけて予め薬剤を注入、被害木を伐倒・玉切りして枝条まで集積してビニールで被覆くん蒸等の被害木の除去を効果的に組み合わせて、被害の状況や地域の 実態に応じた防除を行い、松くい虫の被害防止対策を図る。

手段(事務事業の概要)

平成21年度実績

景勝松樹幹注入事業 国分海浜公園(54本)、霧島神宮参道(77 本)、国民休養地(15本) 伐倒・くん蒸事業

霧島神話の里公園周辺(250㎡)

主

な活

平成22年度計画

景勝松へ薬剤の樹幹注入、被害木の伐倒・く ん蒸。

活動指標(事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
景勝松林樹幹注入本数		本	106	146	150	150
伐倒・くん蒸		m³	119	250	300	300
対 象 (誰、何を 対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
松林	景勝松対象松	本	587	562	550	550
II.	松くい虫被害量	m³	219	370	380	380
意 図 (対象を どうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
松林が保全される	樹幹注入本数/景勝松対象松	%	18.1	26.0	27.3	27.3
II	伐倒・くん蒸量/被害木材積	%	54.3	67.6	78.9	78.9
結 果 (どんな結果に 結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
保全される	植林された森林面積	ha	47.6	35.0	23.0	24.0
11	景勝松林樹幹注入本数 文倒・〈ん蒸 対象 (誰、何を 対象にしているのか) 松林	大倒・くん蒸 大倒・くん蒸 対象指標 (③対象の大きさを 対象にしているのか) 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標) 松木	本 大文倒・くん蒸 本 本 大文倒・くん蒸 m² かま 1 かま 1	大田町指標 (事務事業の店頭童)	大田 17 17 17 17 18 18 18 18	本 106 146 150 150 150 146 150

(2)事業費 21年度 22年度 (決算) (予算) 当初予算額 3,227 7,554 算 補正予算 3,000 額 予算合計 6,227 7,554

	国庫補助金	0
	県支出金	5,459
決算	地方債	0
額	その他	0
	一般財源	658
	支出合計	6,117

単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業は、いつ頃、どのような

きっかけで開始されたのか? は5年前と比べてどう変わったのか? 移入虫であるマツノダラカミキリ虫が媒介する マツノザイセンチュウで松が枯死するため、昭 返している。 和52年度から森林の荒廃を防ぐために開始し

10年周期くらいで被害量は増えたり減ったりを繰り

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又

この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

この事務事業に対する議会から出された 意見

航空防除に対し、養蜂家から補償の要望が 特になし。 あった。

	务事業 ード	742112	事務松	〈い虫防除事	詳				担 当 部 担 当 課	農林水産部 林務水産語	
	l l			21年度 (決		平成22	2年度 (当初	刀 予算)		23年度 (見	
		単位∶千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	酬									
2	給	料									
3		手当等									
7	<u>共</u> 賃	<u></u> 済 費									
8	<u>具</u> 報	賞 費									
9	旅										
10	交	際費									
11	需	用 費									
	消										
	燃金	料費料費									
	食印	科 負 刷 製 本 費									
		熱水費									
	修	<u> </u>									
12	役	務 費									
		信運搬費									
	広手	告 数 料									
	子保										
13	委	託料	658	5,459	6,117	871	6,683	7,554	1,742	5,812	7,554
14		<u> </u>		3,130	5,111		0,000	1,001	1,112	5,512	.,551
15	工事	請負費									
16		材料費									
17		財産購入費									
18		購入費									
19 20	扶	補助·交付金 助 費									
21	貸										
22		<u></u> 填及び賠償金									
23	償還金	利子·割引料									
24		及び出資金									
25	積	立 金									
26 27	寄 公	附金課費									
28	 繰	<u></u> 出 金									
	WAX.	<u></u> 計	658	5,459	6,117	871	6,683	7,554	1,742	5,812	7,554
		国									
		県		5,459	5,459		6,683	6,683		5,812	5,812
	地	方 債									
財源	辺過	地 債 疎 債									
内		<u>踩 頃</u> 併特例債									
訳		13 I/J IE									
	そ	の他									
	— f	般 財源	658		658	871		871	1,742		1,742
		計	658	5,459	6,117	871	6,683	7,554	1,742	5,812	7,554
¥	補助率	里 果		10/10 • 1/2			10/10			10/10	
補	助			10/10•1/2			6,683			5,812	
		初 予 算			3,227 千円			E度 財源内	<u> </u> 訳の「その他		
平成		E 予算	<u> </u>		3,000 千円	\dashv \vdash	1 120 21		- C 07 C		
21	第1					2,400					
	第2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収 <i>)</i>	、説明	
年度	第3		600	第7回							
反	第4			第8回	2 007 1 111						
	予〔	章 合 計			5,227 千円						

	务事業 Iード	742112	事 務 事業名	松くい虫科	方除事業	担当部農林水産部担当課株務水産課					
2	評価の音	阝 <see></see>				評価		評価理由			
Α	• <i></i>		を合性 目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びつい□ 見直すり		松林の健いる。	全育成・保全を実施することで政策体系に結びついて			
目的妥当性評	・このか	?	当性 市が行わなけた 、達成する目的		■ 妥当でも □ 見直す』			市民の訪れる憩いの場の自然環境の保全を図ること しているので公共関与は妥当である。			
性評価		・意図の妥 象や意図を限	当性 定又は追加す	~べきか?		ある 見直す必要がある 見直す必要がある		いては松林で、意図については健全な育成・保全で それぞれ妥当である。			
	成男	の向上余り	t			に且りむ女がめる					
В	上さ	せることができ			□ 向上余り (十分に ■ 向上余り	成果が出ている)	樹幹注入	事業、伐倒・くん蒸事業により向上できる。			
有効性	·事		果への影響 :又は休止した か?		■ 影響がる 影響がある。		松くい虫に	こよる松枯れ被害が拡大する。			
評			· · 廃合·連携(の可能性	■他に手具			(他に手段がある場合の事務事業名等)			
価	外の ・類(手段はないか以事業との統員	ためには、この p? 廃合や連携を 開待できるか?		□他に手具	設がある できない □ 連携					
C 効	·成.		永地 事業費を削減 の適正化、住		■ 削減余均	也がない	削減は事業量(成果)の縮小に繋がる。				
率性評価	・やり を削 ・成り でき)方を工夫して 減できないか 果を下げずに ないか?	職員以外の対	系る業務時間	■ 削減余均 □ 削減余均		業を行うため人件費には影響しない。				
D公平性評価	·事 不公	業の内容が一 :平ではないか	負担の適正 ·部の受益者に い? :平公正になっ	に偏っていて	■ 公平·公		観光資源としても松林を保全することは、広く市民に有益 ので公平・公正である。				
	(1)1%	(課価者)	長)としての	評価結果	(2)全体総括(振	省点)				
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必		美教学。 介 理 <i>和</i>	が狙さわず	"平成20年度から一般航空防除が休止せざる得なく			
括	C 效	: 効性]率性 : 平性	」 適切■ 適切■ 適切	■ 見直す必□ 見直す必□ 見直す必	必要がある	なったが、その影響	撃が懸念され	平成20年度から一板机空の除かれ正せさる存なくれる。また、県補助金の樹幹注入に対する補助金が廃 黒松等へ樹種変換を図る必要がある。			
3 2		ind性 <pla< th=""><th></th><th>□ 兄且りん</th><th>2至17.00の</th><th></th><th></th><th></th></pla<>		□ 兄且りん	2至17.00の						
_			今後の方向	 性		(2)廃止又	は休止す	「べきとした場合の理由			
	□ 事業■ 有効□ 効率□ 公平	:]再設定 統合·連携 性改善(成果 性改善(コス 性改善	[目的妥 [目 [有 【向上) [有 卜削減) [効	率性⑦⑧の結 平性⑨の結果	効性⑤の結! ()の結果] (-) (-) [集] [集]						
		な 改善計画 王度の取組	み概要及び類		ク項目に対し、具体的にどのように取り組むのか 効果 平成23年度に取り組むべき具体的な内容						
公木の い虫	益的機能 伐倒・く <i>/</i>	の高い松林に し蒸を総合的	の何を及びま こついて、薬剤 に組み合わせ もに、病害虫に	川の樹幹注入、 て防除を行い	被害樹			害拡大防止に努める。			

評価	i対象	年度 平	P成 2	1年度	<u>E</u>	事	務事	平 業 再	価表	<一般用:	>					様式1
	事務事コート		7424	412	事 務事業名	系 森	林維持	管理事業					担当担当		農林水産部林務水産部	
	 政策		2	<u>自</u> 身	然にやさ	•	ちづくり				—		担 ヨ グルー		林務グルー	
	施策名		1		然環境の								電話番			
基	本事業	業名	2		林の保全	È							内 線 番	号	2362	
Ţ	_	会計		2会計					事業	□単年度						
	予算	款	6		林水産業	 養費			事業期間	■ 単年度				-	不明)	
乔	科	項日	2		業費 					□期間限	建化	夏数年度(~)
E		ヨード	5 7424		林整備事	半 美質			根拠法令・				なし			ŗ
厚	関連計		144	114				<u> </u>	N/ 1/17	<u> </u>						
	見状把		41	ea <u>r</u>	業の目的	句と指札	- <[Do >								
		设 (事務:				J ()	`					平月	成21年度	実績		
市存を行うになった。	有林を う。 伐につ る。 国営保	・ ・適正に管 ついては 呆険につい	管理する 姶良東 いては	るための るための 更部森林 は市有林	の整備や 林組合、 林の面積	下刈にて	ついてはがに継続加	姶良東部森村 加入、また新規	森林国営保険/ 林組合、淵脇建 見購入の箇所に りも安価な掛金	き設などが行っ	主な活動	森林国営市有林監	75, 71ha 常保険加入	、 8 る巡	8, 894, 930 視活動 19 <i>)</i>	
										·····		前年度と 20年度		庄	22年度	23年度
Ť	舌動拍	指標 (事	務事業	業の活	動量)					単位		(実績)	-		(見込)	(見込)
ア	†有林	kの施業3	美施面	積						ha		6	88	76	76	76
イ素	森林国	国営保険力	加入面	積						ha		62	28	512	236	236
ゥ	_		_	_							_			_		
3	対象		、何を 象にして		のか)	対象	限指標	(③対象の 表)大きさを 表す指標)	単位		20年度 (実績)			22年度 (見込)	23年度 (見込)
アオ	市有林	:	_		F	市有林面	ā積 _	_		ha	_	2,48	39 2,5	509	2,509	2,509
1																
ウ											-		+			
	意图	文 (対象		したいの	のか)	成男	具指標	(⑤意図の 達成度	ぼを表す指標)	単位		20年度			22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア道	適正に	管理され	いる。		<u></u>	施業実施	ā面積			ha	_	ϵ	68	76	76	76
1																
										-						
ウ	結り		んな結り 結び付) (147)	上位	立成果指		店果の達成度	単位		20年度			22年度 (見込)	23年度
アネ	森林が	** *保全され		1/ 4		直林され	た森林面		11/11/11/11	ha		47.6	,,,,,,,	5.0	23.0	24.0
1												+				
	事業背			_	単	位:千円	il (3)	務直業の	環境変化·住l	民意見等						
		-	2			· <u>位·「」</u> 2年度	ت (の事務事業	(は、いつ頃、	どのような					境は、開始	
			(;	(決算)) (=	予算)	き +-3	っかけで開始	始されたのか	١?		は5年前	と比べて	どう	変わったの	か?
ブー		予算額		41,96		34,414		バ所有する山 ^末 開始した。	林を適切に維持	0	の山ホ	林が増加す	る。そのた	とめ、	こめ、今後、褚 . 市単独の除	
算額	補正刀	及び流用	月 2	298,48	38		_			4	等をす	する必要性	が増した。			
祖	予算部	合計	3	340,45	56	34,414										
	国庫;	補助金	T		0			の事務事業	(に対して誰か	いらどんな意		この事務	事業に対	† ব	る議会から	出された
	県支出	出金		19,00	00				寄せられている			意見	3.2141-21		- HJW - 10 - 1	
決 ;	地方值	 債	\top		0		環境保全の観点からも市有林の適切な整備 を進めていくよう市民から要望がある。									
算							を進め	っていくよう市'	氏から要望がま	nる。						

その他

一般財源

支出合計

1,000

313,294

333,294

	务事業 ード	742412	事務 森	林維持管理	事業				担当部農林水産部担当課 林務水産課			
	J.		平成	t21年度 (決	(算)	平成	22年度 (当初	予算		23年度 (見		
		単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
1	報	酬	1,340		1,340							
2	給	料										
3		手当等										
4	共	済 費										
7	賃	金				1 10		1 101	1 101		1 101	
8	報	貸 費 費				1,434	:	1,434	1,434		1,434	
9	<u>旅</u> 交											
11	<u>ス</u> 需		3	13	16	25	5	25	25		25	
	消	耗品費	3	13	16	25		25	25		25	
	燃	料費										
	食	料費										
	印	刷製本費										
	光	熱水費										
	修	繕 料										
40	ζЛ	双 井	10 400		10 400	7.005		7.005	7.005		7.005	
12	役通	務 費信運搬費	13,406		13,406	7,005)	7,005	7,005		7,005	
	遊広	告 選 擬 貸 告 料										
	手	数 料	4,405		4,405	2,063		2,063	2,063		2,063	
	保	険 料	9,001		9,001	4,942		4,942	4,942		4,942	
13	委	託 料	9,719	19,987	29,706	11,461		22,690	11,461	11,229	22,690	
14	使用料	及び賃借料	4,946		4,946	3,188	3	3,188	3,188		3,188	
15		請負費										
16		才 料 費										
17		財産購入費	283,096		283,096							
18		購入費	70		70	50		5 0	70		5 0	
19	負担金 扶	補助·交付金 助 費	72		72	72		72	72		72	
20	貸	<u>助</u> 付 金										
22		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	712		712							
23		利子·割引料	112		112							
24	投資	ひ出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出金	010.004	00.000	000 004	00.105	11.000	0.4.41.4	00.105	11 000	0.4.41.4	
		国	313,294	20,000	333,294	23,185	11,229	34,414	23,185	11,229	34,414	
		_ <u></u>		19,000	19,000		11,229	11,229		11,229	11,229	
	地	方 債		10,000	10,000		11,220	11,220		11,220	11,220	
財	辺	地 債										
源	過	疎 債										
内	合	併特例債										
訳												
	そ	の他	010.00	1,000	1,000	00 15		60.107	00.40=		00.10-	
	<u> </u>	<u>設 財源</u> 計	313,294 313,294	20,000	313,294 333,294	23,185 23,185		23,185 34,414	23,185 23,185	11,229	23,185 34,414	
		国 国	313,294	20,000	JJJ,474	40,100	11,449	04,414	40,100	11,449	54,414	
衤	甫助率											
補	b	基本額										
平		切 予 算		41	1,968 千円		平成 21 年	度 財源内	訳の「その他	の内訳		
成		E 予 算			3,488 千円	,	ヨタ車体からの					
21	第1					1,388						
	第2		1,435		3月) 287	7,443	参加費等(の事業実施の	のための収入	説明		
年度	第3		7,696									
坟	第4			流 用) 450 T III	526						
	予〔	章 合 計		340),456 千円							

	务事業 Iード	742412	事 務 事業名	森林維持	管理事業		担当部農林水産部担当課人株務水産課						
2		那 <see></see>				評価			評価理由				
А	・この (基)	本シートの結り	目的は基本事果)に結びつく		■ 結びつ □ 見直す				有する山林を適切に維持管理することによって、森林 れるので政策体系に結びついている。				
目的妥当	・このか	?	当性 市が行わなけ; 、達成する目自		■ 妥当で □ 見直す		58	市有林の	のため、市が管理を行わなければならない。				
性評価		泉・意図の妥 象や意図を限	当性 定又は追加す	^ト べきか?	■ 適切で □ 対象を □ 意図を	見直す必	が要がある 必要がある	対象が高め適切で	市有林であり、この意図が市有林の維持管理であるたある。				
В	•成:	Pの向上余 り 果指標の現状 せることができ	で値をあるべき	水準まで向	■ 向上弁	⇒地はない に成果が	l 出ている)	適正に管:	理されており、成果の向上余地としてはない。				
有効性部	・事	務事業を廃止な影響があるた		場合にどの	■ 影響か			市有林の	のため、市が管理を行わなければならない。				
評価	・目 外の ・類	的を達成する)手段はないな 以事業との統	に廃合・連携 (ためには、この い? 廃合や連携を 開待できるか?	事務事業以		€段がある			(他に手段がある場合の事務事業名等)				
C 効	•成:	美費の削減 気 果を下げずに (仕様や工法	余地 事業費を削湯 の適正化、住	できない :民の協力な	■ 削減余		١	補助事業により、施業できるところは積極的に補助事業を導力 しているので事業費を削減することは困難である。					
率性評価	・や! を削 ・成: でき	の方を工夫して 減できないが 果を下げずに ないか?	職員以外の対	系る業務時間	■ 削減分				方有林の施業は森林組合等の事業体に委託(入札形 いるため、人件費の削減も困難である。				
D公平性評価	・事 不少 ・受	業の内容が一 、平ではないな 益者負担が公	平公正になっ	に偏っていて っているか?	■ 公平…	必要があ	53	はない。	の維持管理事業であるため、一部の受益者に偏ること				
総括	A 目 B 有	(評価者(課 的妥当性 効性)率性	長)としての ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切	評価結果 □ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必	必要がある いる。また、森林総として市有林を積			業について .合等の事業 亟的に利用	(省点) ては補助事業を活用できるところは積極的に利用して 業体が行う「緑の雇用担い手育成事業」での研修場所 引してもらい、無料で施業を実施してもらっている。 企業等に募り、森林施業を行えば成果の向上を図れ				
	D公	平性	■ 適切	□ 見直す必	変がある	る。	11111/10		EDE G. 1-33-5 (METAESKE FATELSKE)				
3 -	今後のブ	方向性 < PL/	AN>	•									
(1)			今後の方向				(2)廃止又	くは休止す	すべきとした場合の理由				
	□ 事業 □ 有効 □ 効率 □ 公平	こ 可再設定 統合・連携 対性改善(成果 を性改善(コス で性改善	[目的妥 [目 [有 [有上] [有 上] [初]	率性⑦⑧の結 平性⑨の結果	効性⑤の総 の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -								
		な改善計画		(1)のチェック									
	平成22:	年度の取組	み概要及び	期待される対	D果	平成2:	3年度に取	双り組むべ	、き具体的な内容				

アンスカー 1	干 及	十八八 2	一十段		争物	于 来		1四 で	ζ	<u> </u>	<u> 徴用 </u>						様式
事務事		742	413	事 務 事業名	森林環	境税事業	¥						担担	当当		提林水産部 株務水産部	
政策	名	2	自条	太にやさし	いまちづ	くり								ル・		材務グルー	
施策	名	1	自条	然環境の位	呆全								電	話者	昏号	45-5111	
基本事	業名	2	森林	木の保全									内	線音	昏号	2362	
	会計	一角	安会計					= 44	<u>.</u>		単年度のみ	ታ					
予	款	6	農林	木水産業	費			事業期間	E I		単年度繰退	호 (開始年	F度		Н	[17 年度~)	
予 算 科	項	2	林美	 				7/110	,		期間限定補	夏数年度(~)
目	目	5	森林	木整備事	業費			根拠法		なし							
	コード	742	413					条例	等	140							
関連計	画																
1 油作机	143	/1\		*小日的		< Do >										•	

1 . 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 < Do >

手 段 (事務事業の概要)

市で委嘱した森林づくり推進員活動を利用し、間伐未実施林分の把握、森林所有者への間伐の督励、選木、伐採の指導及び現地調査を行い、森林の一体的かつ効率的な整備、森林の多目的な機能の維持、増進を図る。また、林業事業体へ間伐作業に必要な作業路等開設に係る経費を50%助成することにより、森林所有者の施業意欲が向上し、健全な森林を育み、森林の持つ公益的機能の維持を図る。

平成21年度実績

森林づくり推進員活動 265日 森林健全化整備 265.97ha 森林づくり基盤整備 30,510m

平成22年度計画

な

活

動

森林づくり推進員活動 265日 森林健全化整備 138ha 森林づくり基盤整備 14,760m

	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	森林づくり推進員活動		目	265	265	265	265
1	森林健全化整備(森林の除間伐)		ha	353	266	138	200
ゥ	森林づくり基盤整備(作業道・作業	路・集材路の路網整備)	m	17,280	30,510	14,760	160,000
	対 象 (誰、何を 対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	森林施業計画の対象となる森林	森林施業計画面積	ha	29,964	15,479	15,479	15,479
1	民有林	林業作業従事者数	人	123	134	140	145
ウ							
	意図 (対象を どうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	計画的な森林整備の促進	施業実施面積/森林施業計画面積	%	4	3	3	3
1							
ゥ							
	結果 (どんな結果に 結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	森林が保全される	植林された森林面積	ha	47.6	35.0	23.0	24.0
1							

(2)事業費 単位:千円 21年度 (決算) 22年度 (予算) (決算) 7,846 補正予算 0 不算合計 6,890 7,846 不算合計 6,890 7,846

	国庫補助金	0
	県支出金	795
決算	地方債	0
額	その他	0
	一般財源	6,095
	支出合計	6,890

単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

きっかけで開始されたのか?

この事務事業は、いつ頃、どのような

平成17年度から森林環境税を財源とする事業が始まり、森林づくり推進員活動補助がスタートした。また、高齢級除間伐と作業路等の森林基盤整備に対する上乗せ補助を開始した

この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

森林所有者から、森林を適正に保全するためさらに支援の拡充の要望がある。

は5年前と比べてどう変わったのか? 木材価格の低下による森林施業意欲が低下している。

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又

この事務事業に対する議会から出された 意見

特になし。

事系	多事業 ード	742413	事務 森	林環境税事	 業				担 当 部 農林水産部 担 当 課 林務水産課		
	'			21年度 (決	1質)	亚成2	2年度 (当初	 ∏予質)		23年度(見	4
		単位∶千円	単独	補助	合計	 単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	州									
2	給	料									
3		負手 当等									
4	共	済 費									
7	賃	金	795	795	1,590	795	795	1,590	795	795	1,590
8	報	償 費									
9	<u>旅</u> 交	費 際 費									
11		<u>际具_</u> 用 費									
' '		耗品費									
	燃	料費									
	食										
	印	刷製本費									
		熱水費									
	修	繕 料									
	/5	76									
12	役	務費									
		信運搬費									
	広手	<u></u> 告 料 数 料					1				
	保										
13	委	託 料									
14		科及び賃借料									
15		請負費									
16		材 料 費									
17	公有	財産購入費									
18	備品	片購入費									
19		補助·交付金	5,300		5,300	6,256		6,256	6,256		6,256
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22		填及び賠償金 :利子・割引料									
24		及び出資金									
25	積	立 金									
26	<u>寄</u>	 附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金									
		計	6,095	795	6,890	7,051	795	7,846	7,051	795	7,846
		国									
	地	県 方 債		795	795		795	795		795	795
	辺										
財源	過										
内		併特例債									
訳											
	そ	の 他									
	— _f	般 財源	6,095		6,095	7,051		7,051	7,051		7,051
		計	6,095	795	6,890	7,051	795	7,846	7,051	795	7,846
À	補助率	国		50			50				
補		県 基本額		50			50			50	
		多数		ı	5 ,890 千円	—,	亚成 21 年	E度 財循内	L 訳の「その他	1.の内部	
平成		<u>DD </u>			,,oo0 [7]	$\dashv \vdash$	一口以 乙 口	「这"说的	#\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	う」マンドソ司(
	第1			第5回		-					
21	第2			第6回			参加費等	の事業実施	のための収え	\説明	
年	第3			第7回							
度	第4			第8回							
	予〔	算 合 計		(5,890 千円						
	_										

	務事業]ード	742413	事 務 事業名	森林環境	境税事業					農林水産部 林務水産課	
2		阝 <see></see>				評価		評	価理由		
A	・こ <i>の</i> (基ス	本シートの結り	目的は基本事果)に結びつく			がついている 直す必要がある		こより森林施業が追 全されるため施策(×整備が図られ、その結果 びついている。	
目的妥当:	・この のか ・税s	·? 金を投入して、	市が行わなけ 、達成する目的			当である 直す必要がある	林及び林業 体の区域の	能に関し、国との適切が 自然的経済的社会的 を有する」と規定され	な役割分担 内諸条件に	体は、基本理念にのっとり、森 はを踏まえて、その地方公共団 応じた施策を策定し、及び実 林の保全は市の役割であるこ	
性評価		・意図の妥 象や意図を限	当性 別定又は追加す	ナベきか ?	□対象	刃である 象を見直す必要がある 図を見直す必要がある	国・県の 切である。	1114 2 4 11 4 2 4 - 1 1 1 1 4 1)対象・意	図を設定しているため適	
В	・成! 上さ	せることができ	さ値をあるべき きるか?		(+	上余地はない 分に成果が出ている) 上余地がある	らの施業[置林(民有	司意が得られず適 す林)が一部あるた	切な森林 め、森林・	低下により、森林所有者か整備が行われていない放 がでり推進員の活動日数をより効果の向上余地があ	
有効性	·事		果への影響 :又は休止した か?			響がある 響がない		止となれば施業面		対する個人負担が重く、 と、森林保全に与える影	
評価	・目自	りを達成する	施房合・連携 (ためには、この			こ手段がない		(他に手段:	がある場合	合の事務事業名等)	
	・類(り成	果の向上が期	廃合や連携を 明待できるか?			こ手段がある 統合できない □ 連携 統合できる □ 連携					
C 効	·成		末地 :事業費を削減 :の適正化、住			或余地がない 或余地がある	木材価権補助金の	各の低迷により、施 削減は難しい。	業経費に	二対する個人負担が重く、	
率性評価	・やり を削 ・成り でき)方を工夫して 減できないが 果を下げずに ないか?	職員以外の対	係る業務時間 対応や委託を		或余地がない 或余地がある	補助金申請、実績報告作成、補助金支払い事務等これ以上の業務時間削減は難しい。				
D公平性評価	・事業不公	業の内容が一 :平ではないか	負担の適正 -部の受益者に か? 	に偏っていて		平·公正である ≦す必要がある	この事業は森林組合を通じて山林所有者への補助を行であり公平である。				
244			長)としての			(2)全体総括(振	り返り、反	省点)			
総括	B 有	的妥当性 効性 率性	■ 適切□ 適切■ 適切	□ 見直す必■ 見直す必□ 見直す必	か要があ	る 森林所有者から 森林整備のみなら	ず森林保全	との重要性の啓発		な置された森林も存在し、 森林整備を積極的に進め	
	D公	·平性	■ 適切	□ 見直す必		3					
_		う向性 < PL/		₩ -	<u> </u>	/ 2 \ mkc i L 3	71+#164	マンドン	小理由		
(1)			今後の方向 「目的妥	1生 ·当性①②、有	· 効性(5)(• • •	くは水圧り	べきとした場合	の理田		
	□休止		[目的妥	当性①②、有	効性(5)	の結果]					
		再設定	= :	的妥当性①3							
	_ : ::	統合·連携 1性改善(成集		効性⑥の結果 効性④の結果	_						
			ト削減) [効		=						
	□公平			平性⑨の結果	-						
	□ 現状	維持·継続	⇒(3)具体的	的な改善計画	は小要						
(3)	具体的	な改善計画		(1)のチェック	項目に	対し、具体的にどのよう	に取り組む	おのか			
			み概要及び					き具体的な内容			
て要	間伐推進	生(早急に実施	Eするため、森 値する必要があ 期等を明確に「	らるもの)を指定	定し、森	森林整備を進める上 在村者を調査する森材			者への旅	正業の推進を図るため、不	

評値	価対象 年	丰度 ³	平成 2 ⁻	1年度		Į	事	务事;	業 評	価 表	ŧ	<補助金	·負扎	⊒金用 >				様式2
	事務事		7424	14	事業	務 夕	森林	整備事業						担			農林水産	
	政策名		2	白タ	サ末1		ハまた	づくり						担	³ 当		林務水産	
	施策名		1		太環境			, , ,							 [話		45-5111	
基	基本事業	Ě名	2	森村	木の保	全								内	線習	昏号	2362	
		会計		会計						事業	mr		度のみ					
	予算	款項	6		木水産	業費				期間		■ 単年原 □ 期間隔		(開始年)	芰	H 11	年度~)
	科目	目	5		木整備	事業	達費			根拠法	소.			奴牛 反(~)
		コード	7424		1 111 1113	1. 21				条例等		森林•林業基	本法					
	補助金負担金			団体(の運営	支援	2	■ 団体σ)活動支	 援		イベント等の	D補助	□協	議会	等負担	 担金	
	現状把		417 E	3 3 €	美の目	的人	指揮	< Do >										
	手段					иjс	3 E 138	1007			-							
2% 【事 【事 H2	の補助を	を行い、 主体】始 作業路 議整備	森林の 良東部 等開設 (作業))適切 3森林 変整備	な維持な組合、如 ・民有材 ・民有材 易作業!	を図る 合良 i ト施 j	る事業 西部森 養(除間	である。 林組合、北			を目	的として、除間	伐に事	業費の10	%、作業	美路等	等の開設に事	業費の3
ᅔᅻ	₽D1-0-1	白七个	· か た/=	+#	電白士	.H. a	20.00	* # # # A			ᅓ	カート	2 弗 『	<u> </u>	¥ □ <i>þ k</i> t E	日三几々	✓ #L.	
竹						i内の)3 ₀ 0	森林組合			開 助	か金の対象経	E賃 P	余間伐・作業 20 年度	£路等₹ 21年		^{主質} 22年度	23年度
	活動指			(の)活	動量)							単位		(実績)	(実	績)	(見込)	(見込)
ア	作業路	等開設	延長									m		4,212	8	,218	3,876	3,876
1	施業実	施面積										ha		434		390	516	516
ゥ																		
	対象		、何を		- 1 \		対象:	指標 (()	3対象のフ			単位		20年度	21年		22年度	23年度
ア	1	- 対	象にして	こいるの				計画面積	表	をす指標)		ha		(実績) 29,964	(実行	績) ,560	(見込) 12,560	(見込) 12,560
	IX HAN					<i>M</i> */11	,ne ж	11 四田19				114		23,301	12	,000	12,000	12,000
1		(土)	<i>4.</i> →					(6	*\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\					00年度	044	- 	00年度	23年度
	意図	1		たい			成果	指標)意図の 達成度を	を表す指	票)	単位		20年度 (実績)	21年 (実		22年度 (見込)	23年辰 (見込)
ア	施業が	進み、私	集林の曹	を備が	図ら	施業	実施	面積/森林	施業計画	面積		%		1		3	3	3
1																		
ゥ																		
	<i></i>	(نام)	んな結り	果に			1 44-	* - 404	(⑦結-	果の達成	度	W 44-		20年度	21年	度	22年度	23年度
	結果		結び付) カッ)		上似	过果指標		表す指標)		単位		(実績)	(実		(見込)	(見込)
ア	森林が作	保全され	1る。			植林	された	森林面積				ha		47.6	3	35.0	23.0	24.0
1																		
(2)事業責	ł			単 [·]	位:	千円	(3)事務	事業の現	境変化	·住l	民意見等						
				1年度 決算)		22年 予算			務事業 けで開始			どのような ?					境は、開始 変わったの	
予	当初予	予算額		15,97	'4	13,	886					しはじめたこ 平成11年度	木材	価格が低没	としてい	る。		
算額	補正	予算				<u> </u>		から助成を				1777122						
合 貝	予算台	計		15,97	74	13,	886											
		+n+ ^			\neg													
	国庫補		\bot						務事業に 要望が寄っ			らどんな意 らか?		この事務事 意見	業に対	対する	る議会から	出された
決	県支出 地方債		+									ため、森林整	特に					
算額	地力順		+		=			備へ更に					,,,,_	9				
싅	一般則		+	13,33	32													
	支出台			13,33														
	ДШ,	- H I		, , , ,				1										

事務事業
コード742414事務
事業名森林整備事業担当部
提出農林水産部
担当課担当課
・ 株務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

Ī		/				議会	功等の 名	<i>y</i> \##			平成21年	度	平成22年		平成23年度		
			ഥ	M- 1	ענגו ב	1000 乙					(決算)		(予定)	(予定)	,	
	姶良	東部	『森林	组合							補助金	8,603	補助金	9,447	補助金	9,44	
						I					自主財源	35,727	自主財源	47,378	自主財源	47,37	
		象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	44,330	合計	56,825	合計	56,82	
	地	2区		0				0	0	0	自主財源率	81%	自主財源率	83%	自主財源率	83%	
	北姶	良君	₹林組1	슥							補助金	2,862	補助金	2,434	補助金	2,43	
.	1074										自主財源	25,758	自主財源	21,901	自主財源	21,90	
		象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	28,620	合計	24,335	合計	24,33	
	地	区				0	0				自主財源率	90%	自主財源率	90%	自主財源率	90%	
	姶良	. 西의	『森林編	旧合							補助金	1,867	補助金	2,005	補助金	2,00	
	лц IX	ш	17 W. I.I.	ш П							自主財源	7,962	自主財源	11,277	自主財源	11,27	
	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	9,829	合計	13,282	合計	13,28	
	地	1区			0						自主財源率	81%	自主財源率	85%	自主財源率	85%	
T											補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地	1区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
											補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	址	1区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
1						1	1			ı	補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
	対	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7					<u> </u>						補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
	ໄ 太	像	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
寸											補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
	ໄ 太	像	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
ı											補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
	4/1	象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
		1区				,					自主財源率		自主財源率		自主財源率		
1						I	I	<u> </u>		<u> </u>	補助金		補助金		補助金		
											自主財源		自主財源		自主財源		
)	7:1	l'象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
				L-1/3	1117	1247.1	D-4672	437 EU	77.	шн	自主財源率		自主財源率		自主財源率		
<u> </u>				計							補助金負担金合計	13,332	補助金負担金合計	13,886	補助金負担金合計	13,88	
				Ē.							自主財源合計	,	自主財源合計	80,556	自主財源合計	80,55	
												69,447		-		-	
											自主財源率	84%	自主財源率	85%	自主財源率	85%	

負担金の状況

単位:千円

—	けることが							平	12.十円
	団 体名 協議会名		平成21年度	平成22年度	平成23年度		負担金0	の支払先	
	四个口。圆成女口		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	15,974
補正予算	
合 計	15,974

<補正予算内訳:	•			単位:千円
第1回	第4		第7回	
第2回	第5		第8回	
第3回	第6			

	務事業 コード	742414	事 務 事業名	森林整備				担当部農林水産部担当課株務水産課		
2		那 <see></see>				評価		評価理由		
A	・こ((基	本シートの結	目的は基本事 果) に結びつく			ついている 「必要がある		により森林施業が進み、森林整備が図られ、その結整備が保全される。		
目的妥当	・なのか	3	は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で	ごある け必要がある	に関し、国と 的社会的諸多	養基本法第6条に「地方公共団体は、基本理念にのっとり、森林及び林 との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経 条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」と規定されており は市の役割としていることから支援することが妥当である。		
性評価		泉・意図の妥 象や意図を限	当性 限定又は追加す	ナベきか?		である E見直す必要がある E見直す必要がある	国・県 <i>の</i> 切である。	の補助制度と同様の対象・意図を設定しているため、 。		
В	•成 上さ	せることがで	犬値をあるべき きるか?		(十分	会地はないに成果が出ている)	が得られ [*] 部あるたる	: 欲や木材価格の低下等により、森林所有者からの同 ず適切な森林整備が行われない民有林(放置林)が め、間伐推進員活動等をさらに活用することにより成 ☆地がある。		
有効性が	·補	助金又は負担	果への影響 全金の交付を厚 うな影響がある	廃止又は休止	■影響が		負担増と	木材価格が低迷しており、補助金がないと施業経費の なる。廃止すれば施業面積が減少する恐れがあり、 こ与える影響が大きい。		
評 価			応廃合・連携 加金又は負担金		■ 他に引	€段がない		(他に手段がある場合の事務事業名等)		
	·統	廃合や連携す	トることができた		□統	∈段がある 合できない □ 連携 合できる □ 連携				
C 効	・交こと	ができないか	けて、市の負: ?			戻地がない 戻地がある		i格が低迷している現在は補助金がないと施業経費がい状況であり、これ以上、事業費を削減するのは困難		
率性評価	ج.	•		測減余地 係る業務時間		会地がない会地がある	業務内容は補助金の支払いの事務であり、これ以上の業務時間削減は難しい。			
D公平性評価	・補 てV	助金又は負担 いて不公平でに	負担の適正 3金が一部のう 3ないか? 3、平公正になっ	受益者に偏っ		平・公正である この事業は森林組合を通じて山林所有者を対象として 行う事業であり公平である。				
総括	A 目 B 律 C 交	欠評価者(課 目的妥当性 可効性 力率性 公平性	長)としての ■ 適切 □ 適切 ■ 適切	評価結果 □ 見直す必 ■ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必	必要がある 必要がある	まりつつあり、比較に関しての同意が	が低迷して 的間伐や記 得られず、	反省点) にいる中、本事業等の効果から森林整備への関心がに 造林が進んでいる。一方で、森林所有者から森林整 放置された森林も存在しているため、森林整備のみ 発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の		
3 4	今後の	方向性 < PL	AN>		-					
(1)			今後の方向		- H 11 @ - 4	• • • • •	スは休止す	すべきとした場合の理由		
	□ 事業■ 有效□ 効率□ 公平	と り再設定 美統合・連携 か性改善(成界 変性改善(コス で性改善	[目的妥 [目 [有 [向上] [有 [内上] [効 [公	全当性①②、有 全当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑤の結果 効性④の結果 事性⑦⑧の結果 やでいるのは果 のな改善計画の	対性⑥の約 ②の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -					
		な改善計画				、具体的にどのよう				
この んで 等を 林(馬	の事業に いるが、 適切に算 早急に実	より森林所有 一部には放置 実施するため、 施する必要か	者の意識が高 量林等も存在す 森林整備計画	期待される対 iまり、森林保含 けるため、保全 画において要門 旨定し、森林の 実施する。	全が進 ・管理 間伐森		— —	、さ具体的な内容 を明確にして施業を実施したい。		

評値	西対象年度	平成 21年度	事	務事 業	評価を	長	<補助金	·負担金用:	>		様式2
į	事務事業	742611 事	務なき	ざの少年団	育成事業					農林水産	
-	<u>コード</u> 政策名	争	業名 ゆきしいまち						担 当 課 グループ	林務水産	
	施策名		境の保全	5*2(9					<u>クルーク</u> 電 話 番 号		
麦	本事業名		習の推進						内線番号		
	会計		H . 1m.C				□単年月		13 ///3		
	予款	6 農林水	産業費				■ 単年原	度繰返 (開始年	■度 H 6	年度~)
	算 項	3 水産業	費			aj	□ 期間降	限定複数年度(~)
			振興費費		根拠法 条例		なし				
	補助金 負担金別	□ 団体の運	営支援	■ 団体の	 舌動支援		イベント等の	→ 対補助 □	協議会等負	担金	
1.	現状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do >							
	手段(事	務事業の概要)									
基本	なとした事業の	一部を補助する。									
補	助金·負担3	金の交付先なき	ざの少年団			補助	金の対象経		・年団の活動!		
	活動指標(事務事業の活動量	<u>t</u>)				単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	体験放流						日		2 1	1	(光起)
1	海岸清掃						且		9 2	2	2
ウ	魚料理教室						耳		0 0	_	1
		能、何を け象にしているのか	対象	指標 	対象の大きさを 表す指標))	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
アイ	なぎさの少年	団員	福山小学	交児童数			人		60 45		45
	意図	対象を どうしたいのか〕	成果		意図の 達成度を表す指	標)	単位	20年度 (実績)	(実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	自然や漁業に	こ関心を持ってもら 	放流活動	清掃活動に	参加した児童		人	6	50 45	45	45
1											
ゥ	石 未	ごんな結果に 結び付けるのか)		成果指標	(⑦結果の達成 を表す指標	į)	単位	20年度		22年度 (見込)	23年度 (見込)
	環境に関するる。	関心と理解を深め	過去3年間市民の割っ		こ参加したことの	ある	%	15	7 16.0	30.0	31.0
1											
(2)	事業費		単位:千円	(3)事務事	業の環境変化	・住民	民意見等			1	
		21年度 (決算)	22年度 (予算)		8事業は、いつ ↑で開始された				を取り巻〈環 と比べてどう		
予	当初予算額	類 30	30		心とした環境教育			5年前に比べる	ると児童数が源	域少している。)
算	補正予算額	Ą		より開始した	。	1.1-12	CC 1 72.0 —				
額	予算合計	30	30								
	国庫補助金	<u> </u>		この事剤	 务事業に対して	 :誰か	らどんな意		<u></u> 事業に対す	 る議会から	出された
5.1	県支出金			見や要	望が寄せられて	ている	か?	意見	2.2K1=717		
決算	地方債				系者より自然風土 は子供達にとって			特になし。			
額	その他				を続けてほしい						
	一般財源	30									
	支出合計	30									

 事務事業 コード
 742611
 事務 事業名
 なぎさの少年団育成事業
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位: 千円

	団 体 名·協議会名	平成21年 (決算)		平成22年 (予定		平成23年 (予定)	
	福山小学校なぎさの少年団	補助金	30	補助金	30	補助金	30
1	個山小子校などとのグキ団	自主財源	34	自主財源	34	自主財源	34
'	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計	64	合計	64	合計	64
	地区	自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%
		補助金		補助金		補助金	
2		自主財源		自主財源		自主財源	
_	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
3		自主財源		自主財源		自主財源	
J	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
4		自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
5		自主財源		自主財源		自主財源	
Ŭ	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	」 合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
6		自主財源		自主財源		自主財源	
Ŭ	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	」 合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
7		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山			合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
8		自主財源		自主財源		自主財源	
	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山			合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
9		自主財源		自主財源		自主財源	
ŭ	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	」 合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
10		自主財源		自主財源		自主財源	
-	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山			合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	計	補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	30
		自主財源合計	34	自主財源合計	34	自主財源合計	34
		自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%

負担金の状況

単位:千円

	団 体 名 協議 会 名				平成23年度		負担金0	D支払先	
	四 体石 一肠 俄 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計					_		

当初予算	30
補正予算	
合 計	30

<補正予	算内訳 >					単	位:千円
第1回		第4		第7			
第2回		第5	回	第8	回		
第3回		第6					

	务事業 Ⅰード	742611	事 務 事業名	なぎさのク	少年団育店	找事業			<u>担当</u>
2	評価の部	<see></see>				評価			評価理由
А	政策(・この事	本系との 事務事業の	合性 目的は基本 果) に結びつ [。]		■ 結びつ	いている		この事業の環境に	業を通して錦江湾の生物を知る機会が得られ、錦江湾 に対する関心と理解が深まるので政策体系に結びつい
目的妥当:	・なぜ	•	は負担しなけ	ければならない	■ 妥当で		ある	ことで、環	この頃から「なぎさ」に関する多様な体験活動を実施する 環境問題や自分達の手で身近な海を守っていかなけれ いという意識を持ってもらう動機づけを行えるため妥当
性評価	•対象·		定又は追加・	すべきか?		見直す	必要がある 必要がある)地区の児童に限らず、対象を拡大する必要がある。 ついては妥当である。
В	・成果 上させ	ることができ	値をあるべき るか?		■ 向上统 (十分	に成果か	が出ている)	事業目的	的以上の成果向上は見込めない。
有効性評	・補助・ した場	金又は負担合にどのよう	果への影響 金の交付を うな影響があ 廃合・連携	発止又は休止 るか?	■影響が				然に触れ合う子ども達が少ない中、この事業が廃止とお一層その体験活動の機会を失うことになる。
価	他に	同様の補助		金はないか?		∈段があ			(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効	・交付 ことが	できないか?	ナて、市の負 ?	担を削減する	■削減分	≷地がなり	L I		xが減少するなかでこれ以上の市の負担削減は難しい
率 性 評 価	・やりブ			削減示地 係る業務時間	■削減分□削減分			自主活動 減余地は	動がほとんどであり、予算執行事務が主なものであり はない。
D公平性評価	・補助: ていて	金又は負担		受益者に偏っ	■ 公平·				2区は福山小学校のみの限定されているが、門戸は広 ので公平・公正である。(呼びかけをしていく必要あり)
総		9妥当性	長)としての □ 適切 ■ 適切	評価結果■ 見直す必□ 見直す必			体総括(振		
括	C 効率 D 公平	2性	■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必 □ 見直す必		海岸	線近くにある	6他の学校(でにおいて同様の取組みはなされていない状況にある。
		句性 < PLA		- 			/ 2) 時 を i 上 ∇	7 I+/+ I-7	すべきとした場合の理由
	□ 廃止 □ 休止 ■ 目的 ■ す効性 □ 効率性 □ 公平性	再設定 統合・連携 生改善(成果 生改善(コス) 生改善	[目的妥 [目 [有 向上) [有)削減) [郊 [公	注 全当性①②、有 会当性①②、有 自的妥当性①③ 可効性⑤の結果 可効性④の結果 動率性⑦⑧の結果 い平性⑨の結果 的な改善計画の	効性⑥の約 の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -		(2) 6 EE>	CILITIE 9	9 へきとした場合の珪田
		改善計画		(1)のチェック					
少年	年団を増や	っすことより事	業費の増加	期待される対 と学校負担分 可能かどうか核	力果 が発生 ^ゴ	平成2	23年度に取	双り組むべ	べき具体的な内容 がき対応する。

評価対	付象年度	平成 21年度	事者	务事業評	価 表	<u><補助金</u>	·負担金用>			様式2
	務事業 コード	742111 事	務 業名 みど	じの少年団育成事	事業 		扌	旦当課	農林水産部 林務水産部	課
	效策名		やさしいまち	づくり				ブループ	゚林務グル−	ープ
	施策名 * 車 業 久	1 1 7 1 1 1 2	境の保全					電話番号		1
基本	本事業名	4 環境学習 一般会計	習の推進			□単年度	1	内線番号	2363	
予 算	i 37	6 農林水産			事業期間	■ 単年原	度繰返 (開始年	度 S 44	4 年度~))
科	埋	2 林業費				□期間降	限定複数年度(~)
目	コード	2 林業振り 742111	興費		根拠法令・	緑の基金によ	にる森林整備等の	推進に関する 	,法律 	
	輔助金 担金別	■ 団体の運	営支援	■ 団体の活動支	援 □	・ イベント等の	 D補助 □∜	協議会等負技	担金	
1.現	!状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do >						
次活霧竹安霧霧福少代動島子良島島山年	と担う少年少 している。市が たには市内5 最の少年団 最の少年団 山緑の少年団 小緑の少年巨 ト緑の少年巨 早緑の少年 町の主な活動	からの助成等により。 5つの小・中学校におり、	、みどりの少年 みどりの少年E の感謝祭や地D	区交流会などの森林(発展を図って\ * *体験学習 <i>の</i> ほ	いる。	祭への参加や街頭	頂募金活動を		
		金の交付先の交付先の交付先の		,団体)	作出以	助金の対象経 │	20年度		22年度	23年度
		事務事業の活動量)			単位	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
	どりの感謝					田	1			1
	動発表大会	会及び交流集会 				日]	1 1	1	1
ウ										
対		隹、何を け象にしているのか)	対象抗	指標 ^{(③対象のフ} 表	大きさを 長す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア み イ	とりの少年[団(5団体)	みどりの少年	年団員		人	152	2 152	152	150
		対象を どうしたいのか)		指標 (⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
	可民に伝え理		緑化活動^	へ参加した団員延べる		人	300			320
結	ま 果 (ど	ごんな結果に 結び付けるのか)	上位月		活果の達成度 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
1		ら関心と理解を深める	る 過去3年間 市民の割合	引に環境学習に参加し		%	15.7	ì		31.0
(2)	業費	j	単位:千円	(3)事務事業の環	環境変化・住	民意見等				
		21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業に きっかけで開始				を取り巻〈環 :比べてどう		
丁	当初予算額	夏 253	207	次代を担う青少年をり育てる心と健康で明	明るい心をもっ		緑の少年団活動 徒数が減少してき		いる小中学村	交の児童生
安百	補正予算額 予算合計	253	207	てることを目的として	. 開始される。	ļ				
	国庫補助金 県支出金	i		この事務事業に 見や要望が寄			この事務 意見	事業に対する	る議会から	出された
決地	也方債	+	!	特になし			特になし			
算一	その他		!	1		!	1			
口只	一般財源	138	!	1		!	1			
支	支出合計	138	ļ			1				
				1		,	1			ľ

 事務事業 コード
 742111
 事務 事業名
 みどりの少年団育成事業
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		₩.	休久	フ、 ‡カ	議 ム	タ		_	員数	平成21年	度	平成22年	平成23年度	ŧ	
		വ	14 2	台'肠	議会	台		Ź	貝奴	(決算)		(予定))	(予定)	
	竹子緑の	D心在F	可育成	슾						補助金	23	補助金	23	補助金	
1	יאוו נינו									自主財源	134	自主財源	150	自主財源	
.	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	157	合計	173	合計	
	地区			0						自主財源率	85%	自主財源率	87%	自主財源率	
	霧島山絲	₹の小な	主団谷	成補助	全					補助金	23	補助金	23	補助金	
2	235 TTJ LTJ W	x 0) /	гын	13% I I I I I I	312					自主財源	161	自主財源	160	自主財源	
_	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	184	合計	183	合計	
	地区					0				自主財源率	88%	自主財源率	87%	自主財源率	
	霧島小絲	₹の小な	王団							補助金	23	補助金	23	補助金	
3	1, C, Crrt 1642	**************************************	T124							自主財源	292	自主財源	250	自主財源	
٦	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	315	合計	273	合計	
	地区						0			自主財源率	93%	自主財源率	92%	自主財源率	
	福山中約	是の少々	±⊞							補助金	23	補助金	23	補助金	
4	1#ПП.1.1	****	T 124							自主財源	88	自主財源	50	自主財源	
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	111	合計	73	合計	
	地区								0	自主財源率	79%	自主財源率	68%	自主財源率	
	安良小約	まの小な	∓ (ਜ)							補助金		補助金	23	補助金	
5	又 区 小 川	ж ^о) У -	+I의							自主財源		自主財源	150	自主財源	
٦	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計	173	合計	
	地区				0					自主財源率		自主財源率	87%	自主財源率	
	バス借り	トーギ								補助金	46	補助金	92	補助金	
6	ハヘ旧り	T 1)								自主財源		自主財源		自主財源	
0	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	46	合計	92	合計	
	地区	•								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
7										自主財源		自主財源		自主財源	
′	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
۰										自主財源		自主財源		自主財源	
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		<u> </u>								補助金		補助金		補助金	
_ ا										自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
40										自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
- [地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			計	-						補助金負担金合計	138	補助金負担金合計	207	補助金負担金合計	
			н							自主財源合計	675	自主財源合計	760	自主財源合計	
										自主財源率	83%	自主財源率	79%	自主財源率	

負担金の状況

単位:千円

	団 体名·協議会名				平成23年度			D支払先	
	四 体 石 · 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	253
補正予算	
合 計	253

<補正予	算内訳 >					単	位:千円
第1回		第4		第7			
第2回		第5	回	第8	回		
第3回		第6					

	务事業 ード	742111	事 務 事業名	みどりのタ	少年団育原	龙事業	担当部 農林水産部担当 課 林務水産課	
		S <see></see>				評価		評価理由
2 R		体系との影響				計画		計順建用
A	・この (基本	事務事業の	目的は基本事果)に結びつく		■ 結びつ □ 見直す)いている ⁻ 必要がある		う少年少女の活動を通じ、自然環境に対する関心が め森林の保全へ結びついている。
目的	公共	関与の妥論	当性		■ 妥当で	· * Z	を仕れれ	う少年少女に対して、自然環境の学習に取り組むこと
妥当	のか	?	は負担しなけ	ればならない		·める ⁻ 必要がある	は妥当で	
性評	対象	・意図の妥	·当性		■ 適切て	である	7. 1810 00 1	ト左口旦 アウ 外側 応 アセレンフ目 とと 古は ディとると は
価	対象	象や意図を限	定又は追加す	 ナベきか?	□ 対象を	見直す必要がある		♪年団員に自然環境に対する関心を高めてもらうため :あり対象・事業とも妥当である。
					□ 意図を	見直す必要がある		
В	・成界 上さ ⁻	せることがで	さ値をあるべき。 きるか?		(十分			間でも活動内容において差があるので、活動団体の 動内容の平準化をおこなうことで、成果の向上が期待
有	廃止	∵休止の成	果への影響					
効 性			1金の交付を厚 うな影響がある		影響カ影響カ			の少年団の運営状態が難しい状況にあるなか、 廃止した場合、活動に大きな影響が考えられる。
評価			統廃合・連携(■ 他に手			(他に手段がある場合の事務事業名等)
IЩ			」金又は負担金 ることができた		□他に手			
				¥ V 77 · :	□ 統1	-ゎ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚ゔ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゠゙゙゙゙゙゙゙゙		森林保全を目的とした、少年・少女対象の団体はなく、他の団体との統合は難しい。
С		費の削減の		Let Ja Mari N. b. 1 . ve	■ 削減金	≷地がない	活動経費	としての体験学習等の部分を補助しているため教材
*+		す先に働きか ぶできないか	けて、市の負 [‡] ?	担を削減する		∜地がある		減はできない。
効率	人件	費(延べ業	務時間)の間	1減余地				
性		`	<u> </u>		■ 削減分	や地がない	緑の少年	団の活動は自主的な活動が主であり、職員は補完的
評価	・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間 を削減できないか?			□ 削減分	≷地がある	な役割で	ある。	
	W 3.4	受益機会・費用負担の適正化余地						
D 公					□ 公巫…	公正である	電自士由	でも国分と隼人には少年団がないことから、市の施策
平性		が金又は負担 て不公平では	且金が一部のst はないか?	 全盆石に偏つ				」でも国分と隼人には少年団かないことから、市の旭末 P性に欠ける部分もある。
評価	•受益	益者負担が公	や平公正になっ	っているか?	■ 見且9	が要がある		
	(1)1次	(評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	(省点)
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	が要がある			
	B 有	効性	□ 適切	■ 見直す必		現状は固定した少し、更に幅広い活動		か、活動の輪を広げるため各学校に少年団の加入を(b. 5.5 に) たい
括	C 効		■適切	□ 見直す必		し、火に幅広い店	助かてきる。	4)(CD/2V)
	D 公		□適切	■ 見直す必	が要がある			
_		向性 <pl< th=""><th></th><th>Ist.</th><th><u> </u></th><th>L/o \ mir.L v</th><th>7 1-4-64 [</th><th></th></pl<>		Ist.	<u> </u>	L/o \ mir.L v	7 1-4-64 [
	評価結り □ 廃止		今後の方向	性 当性①②、有	***********	、 ,	くは休止す	すべきとした場合の理由
	□焼⊥□休止			·当性①②、有 ·当性①②、有				
				的妥当性①③		12/63		
	□ 事業	統合·連携	[有	効性⑤の結果	<u>[</u>			
				効性④の結果				
				率性⑦⑧の結				
	■公平		_	平性⑨の結果 的な改善計画(_			
	□圾机	AE1寸:AEA冗	→(3) 共平□	いな以告司画	は小安			
(3),	具体的な	は改善計画		(1)のチェック	項目に対し	、具体的にどのよう	に取り組む	3のか
				<u>、</u> 期待される効				き具体的な内容
現状; りたい		ながら、少年	団の加入を促	とし、団員の拡				、を促し、団員の拡大を図るためにみどりの少年団の沿すい環境づくりを行う。

評価	対象	年度	平成 21年度	<u> </u>	事	多事業 詩	平価表		<補助金	・負担	<u> </u>			様式2			
事	務事	-14	742612	事務		つり開催事業					担		農林水産	••			
	그ート 자연소			事業名							担		林務水産				
	政策名 施策名			然にやさ	しいまち	つくり						<u>ルーノ</u> 『話番号	水産グル- 45-5111				
	他東在 本事對			☆塚現の 寛学習の								〕 話 留 亏 〕 線 番 号	2371	1			
至.	半ザッ	会計	一般会計		/1出/些				□ 単年原	≐のみ		が田っ	2311				
5	}	款		木水産業	* 書		事業				r 纟(開始年)	芰 H 1	年度~)			
算	单	項	,,	主業費	5.只		— 期間										
和日	[}]]	目		主术员 崔業振興	1書		根拠法令	今 ,		W.~. 1.2	200 1 100			,			
	-	コード	742612				条例等		なし								
	補助会		□団体の	の運営す	援	□ 団体の活動		.	イベント等 <i>σ</i>)補助		3議会等負	担金				
1.玛	1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <do></do>																
=	手 段 (事務事業の概要)																
隼丿	人地区	の日当	山温泉公園で]、6月1日	日の鮎解禁日後の	日曜日に開作	崔。関	原団体(地域	或、漁協	協や商工会、	旅館、観光	協会など)に	よって組織			
			「委員会が主作 「の試食・活き		ち のつか	み取り・○×クイス	ブダタコーナー	- か割	『墨』宝梅す	ス							
			の試食・活き 売上代金も事				・寺谷コー /	一で _ル	ズ直し 天 畑 ァ	る。							
			-			•											
補用	助金∵	負担金	金の交付先	鮎まつり	実行委員	会	à	補助	金の対象経	Z費	鮎まつり開作	崖に要する経	費				
			事務事業の活	動量)		\ <u>`</u>			単位	<u> </u>	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)			
ア	イベント	州催数	ά						旦		1	1	1	1			
イ魚	占まつり	の参加	旧者数						人		9,000	9,000	9,000	9,000			
ウ 記	2置さ		ーナーの数						箇所		8	_	8	8			
3	対象	, ,,,,,	、何を 象にしているの	のか)	対象	指標 (③)対象	の大きさを 表す指標)		単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)			
アト	市民及	び市外	からの来客者	· 対	医場者数				人		9,000	9,000	9,000	9,000			
1																	
j		(対	象を	~ 2.)	成果	指標 (⑤意図の		ng \	単位		20年度	21年度	22年度	23年度			
フ 天	三降川が	鮎の生息	どうしたいで する自然豊かな川		- 場者数	達以	度を表す指標	票)	人		(実績) 9,000	(実績) 9,000	(見込) 9,000	(見込) 9,000			
ح ر	を知って	もらう。		21	「勿 "日 %A						3,000	3,000	3,000	3,000			
1														,			
ゥ																	
1	結 界	ŧ (ك	んな結果に 結び付けるの)4y)	上位	·/ == 1= 1= . ~)結果の達成原 を表す指標)	度	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)			
ア	環境に	関する	関心と理解を	ためる 道	過去3年間 対民の割る]に環境学習に参		ある	%		15.7		30.0	31.0			
1						-											
		a		単代	:千円	(3)事務事業の	D.福佳恋化。	住民	2音目笙								
(-)-	retent.		04年前								=∞= ₩#	- UT 11 24 / III	□↓卒!→ 月日か	^n±#0 ▽			
			21年度 (決算)		年度 予算)		業は、いつり 開始されたの						環境は、開始 変わったの				
予	当初一	予算額	1,00	00	1,000	平成1年日当山 りを通して天降川				特に	なし。						
算	補正	予算額				いとの要望による		/r(_r	'K&11 V '/⊂								
額	予算部	計	1,00	00	1,000												

国庫補助金 県支出金 決 算 その他 一般財源 1,000 支出合計 1,000

3	(3)事務事業の環境変化・住民	民意見等					
	この事務事業は、いつ頃、 きっかけで開始されたのか					境は、開始 変わったの	
	平成1年日当山天降川漁業協同りを通して天降川の鮎を県内外にいとの要望による。		特になし。				
	この事務事業に対して誰か 見や要望が寄せられている		この事績 意見	務事	業に対する	る議会から	出された
	特になし。	!	特になし。				

 事務事業
コード
 742612
 事務
事業名
 鮎まつり開催事業
 担当部
 農林水産部

 担当課
 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

_ [団 体 名 協議 会 名	平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定		平成23年 (予定)	
	鮎まつり実行委員会	補助金	1,000	補助金	1,000	補助金	1,000
1	―――――――――――――――――――――――――――――――――――――	自主財源	688	自主財源	688	自主財源	688
'	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計	1,688	合計	1,688	合計	1,688
	地区	自主財源率	41%	自主財源率	41%	自主財源率	41%
		補助金		補助金		補助金	
2		自主財源		自主財源		自主財源	
_	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
3		自主財源		自主財源		自主財源	
3	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
4		自主財源		自主財源		自主財源	
4	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
5		自主財源		自主財源		自主財源	
5	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
6	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
7		自主財源		自主財源		自主財源	
′	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
		自主財源		自主財源		自主財源	
8	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		補助金		補助金		補助金	
_		自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
T		補助金		補助金		補助金	
10		自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象 全市 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 福山	合計		合計		合計	
	地区	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
	計	補助金負担金合計	1,000	補助金負担金合計	1,000	補助金負担金合計	1,000
		自主財源合計	688	自主財源合計	688	自主財源合計	688
		自主財源率	41%	自主財源率	41%	自主財源率	41%

負担金の状況

単位:千円

	団 体 名 協議 会 名				平成23年度		負担金0	D支払先	
	四 体石 一肠 俄 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計					_		

当初予算	1,000
補正予算	
合 計	1,000

<補正予	<u>算内訳 ></u>				単位:千円
第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

1	務事業 742612 事 務 コード 742612 事業名	鮎まつり開催事業		担 当 部 農林水産部	
2 1	評価の部 <see></see>		評価		評価理由
A	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事 (基本シートの結果)に結びつくス	未少息囚 —。	 ついている す必要がある	然豊かな	の自然体験や川の生物を知ることにより天降川が自 川であることを知る機会が得られ、川の環境に対する 解が深まるので結びついている。
目的妥当	公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなける のか?		である す必要がある	問題や自	類について関心が多い昨今、市民ひとりひとりが環境 分達の川を守っていかなければならないという意識を 民に持ってもらう動機づけを行う事業であるため妥当で
性評価	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加す	べきか?	である を見直す必要がある を見直す必要がある	意図もまっ	市、県内外を問わず多くの人が来場でき妥当である。 つりを通して霧島市を流れる天降川の自然を市、県内 ールし環境に関しての意識を高めてもらうために妥当
В	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべきオ 上させることができるか?	く準まで向 (十分	余地はない た成果が出ている) 余地がある	識し、積極	員会の会合数を増やし、自分達のまつりである事を意 函的にアイディア等を出し合い更に内容を検討すること 上の余地がある。
有効性評	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃 した場合にどのような影響がある	か? 影響;			上場合、霧島市の川は鮎が遡上する自然豊かな川であ 内外の人々に知ってもらう機会が減る。
価	類似事業との統廃合・連携の・他に同様の補助金又は負担金・統廃合や連携することができな	はないか? いか? □ 他に □ 統	手段がない 手段がある ふろできない □ 連携		(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効	事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担ことができないか?	型を削減する □ 削減: ■ 削減:	<u>合できる</u> <u>□ 連携</u> 余地がない 余地がある		日の鮎の売上げが増加すれば事業費削減の余地あ
率性評価	人件費(延べ業務時間)の削・やり方を工夫して事務事業に係を削減できないか?	□ 削減: る業務時間	□ 削減余地がない 今後更に地域や各種団体の協力を準備段で業務時間の削減余地がある。		
D公平性評価	受益機会・費用負担の適正化・補助金又は負担金が一部の受ていて不公平ではないか?・受益者負担が公平公正になっ	益者に偏っ ■ 公平・	·公正である す必要がある		民を問わず県内外の参加したいと思うすべての人が対 ☆平である。
総	(1)1次評価者(課長)としての記 A 目的妥当性 ■ 適切	平価結果 □ 見直す必要がある	(2)全体総括(振	り返り、反	省点)
括	C 効率性 □ 適切	■ 見直す必要がある■ 見直す必要がある□ 見直す必要がある			崔しであるが、ここ最近は漁協の関わりが少なくなって 問う時期に来ている。
_	今後の方向性 < PLAN >	+			
	□ 休止 [目的妥当] □ 目的再設定 [目的 □ 事業統合・連携 [有效 ■ 有効性改善(成果向上) [有效 □ 効率性改善(コスト削減) [効率 □ 公平性改善 [公立 □ 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的	当性①②、有効性⑥の。 当性①②、有効性⑥の。 付妥当性①③の結果] 効性⑤の結果] 効性④の結果] を性⑦⑧の結果] を性⑦⑧の結果] で性⑨の結果] な改善計画は不要	結果]		rべきとした場合の理由
平	具体的な改善計画 (平成22年度の取組み概要及び期 成22年中に実行委員会のあり方や無 等について、実行委員会に諮る。			収り組むべ	き具体的な内容

評値	一対象年度	平成 21年度	事	務事 業評	価 表	<u>< 補助金</u>	· 負担金用 >			様式2
ļ	事務事業 コード	742110 事	発 しい	たけ生産組織育品	 龙事業		担		農林水産	
			** 〜 る産業のまり	うづくり				ュョ 誅 ゛ル ー プ		
	施策名		水産業の振				1		45-5111	-
基	本事業名	1 農林漁	業経営体へ	の支援			P	線 番 号	2363	
	会計	一般会計			事業	□ 単年/	度のみ			
	予 款		(産業費		期間		度繰返 (開始年	芰 S 48	年度~)
	科 🖳	2 林業費	-			□期間	限定複数年度(~)
	目目コード	2 林業振 742110			□ 根拠法令· □ 条例等	特になし				
1	 補助金 負担金別	■ 団体の運	営支援	■ 団体の活動支	援 □	イベント等の	の補助 □協	諸会等負	坦金	
1.	現状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do >						
		務事業の概要)								
椎茸		制を確立する。また		たけともに生産量は減 5供給による良質・安						
補	助金 負担金	金の交付先の交付先の	島市椎茸振興	会	補目	加金の対象線				
	活動指標(事務事業の活動量	量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	しいたけ生産	振興会補助団体数	数(本部·支部))		団体	4		4	4
1										
ウ	/=	U. I⇔.		(@ lug =	I > C. >		00左座	04/5/5	00左南	00左座
		推、何を け象にしているのか	対象	指標 ^{(③対象の} 表	大きさを 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
アイ	しいたけ生産	振興会員	しいたけ振	長興会員数		人	25	25	27	27
	意図(対	対象を どうしたいのか	.) 成果	指標 (⑤意図の 達成度	を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	しいたけ生産	量が増大する	乾しいたけ	け生産量		Kg	12,670	13,250	14,000	14,000
1			生しいたけ			Kg	215,865	242,820	250,000	250,000
ゥ				<u></u>			210,000		200,000	
	結果(と	ごんな結果に 結び付けるのか)	上位		店果の達成度 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	経営体質が強	食化される	経営体が抗	施業を実施した面積		ha	434	390	380	380
1										
-	事業費		単位:千円	(3)事務事業の語	景壌変化・住	民意見等				
(-)	- N. J.	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業きっかけで開	は、いつ頃、	どのような		を取り巻〈環 比べてどう		
予	当初予算額	₹ 60	60	昭和48年に生産者経営の安定を目的			生産者の高齢化、の変化に伴う需要			
算	補正予算額	Į		経営の女足を目的	として開始した	•0	く環境は厳しい状	況にある。そ	のなか、霧島	島市のしい
額	予算合計	60	60				たけ生産者は、県を受けるなどし、身体制づくりに努め	マ心・安全な!		
	国庫補助金	<u> </u>		一の車殺車器	にかして針も	いこじんか音			z 詳合から	出さわた
	県支出金	-		この事務事業 見や要望が寄			この事務制 意見	業に対する	の俄云かり	ше <i>111</i> 2
決	地方債			特になし。			特になし。			
算額	その他									
识	一般財源	60								
•	支出合計	60								
	<u> </u>	00								

 事務事業 コード
 742110
 事務 事業名
 しいたけ生産組織育成事業
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		4] 体 1	呂・協	議会	名		ź	会員数	平成21年 (決算)	度	(予定	平成22年度 (予定) 平成23年度 (予定) 補助金 60 補助金			
	霧皇市	椎茸振	爾仝						27 人	補助金	60	補助金	60	補助金	60	
1	755 11111	114111	,, ,						21 /	自主財源	49	自主財源	53	自主財源	53	
'	対象		国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	109	合計	113	合計	113	
	地区	•								自主財源率	45%	自主財源率	47%	自主財源率	47%	
										補助金		補助金		補助金		
2										自主財源		自主財源		自主財源		
_	対象		国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
3										自主財源		自主財源		自主財源		
٦	対象		国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
4										自主財源		自主財源		自主財源		
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
5										自主財源		自主財源		自主財源		
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
6										自主財源		自主財源		自主財源		
0	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
7										自主財源		自主財源		自主財源		
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
										補助金		補助金		補助金		
10										自主財源		自主財源		自主財源		
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
			言	t T					27 人	補助金負担金合計	60	補助金負担金合計	60	補助金負担金合計	60	
										自主財源合計	49	自主財源合計	53	自主財源合計	53	
										自主財源率	45%	自主財源率	47%	自主財源率	47%	

負担金の状況

単位:千円

見	[担立り外流							単	1加:十円
	団体名:協議会名		平成21年度	平成22年度	平成23年度		負担金0	の支払先	
	四个石。加成云石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	60
補正予算	
合 計	60

<補正予	算内訳 >					単	位:千円
第1回		第4回	1	第7	回		
第2回		第5回	1	第8	回		
第3回		第6回	i				

	务事業 ード	742110	事 務事業名	しいたける	生産組織育	京成事業	担当部農林水産部担当課人 林務水産課				
=		3 <see></see>		<u> </u>		評価		評価理由			
_ F		体系との記	合性			нтіш					
A	・この (基本	事務事業の	目的は基本事 果)に結びつく		■ 結びつ □ 見直す	いている 「必要がある		ナ生産組織を支援し、経営体の強化を図ることで、政策 結びついている。			
目的	公共	関与の妥論	1性		■ 53.1/3	. + -	2 3	ᆙᇿᅔᄱᅉᇫᅔᅩᄓᆚᅔᄔᇫᄕᄜᅩᄝᄝᅩᇫᅝᅩᆦᄁᅝ			
妥当	・なせ のか		は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で □ 見直す	:める ⁻ 必要がある	妥当では	ナ生産組織の育成は林産物の振興を図るのにつながり ある。			
性 評	対象	・意図の妥	当性		■ 適切で	である					
価	• 対	象や音図を限	定又は追加っ	ナベきか?	□ 対象を	見直す必要があ		しいたけ振興会員であり、意図は生産量の増大であるた 水産業の振興につながり適切である。			
				,	□ 意図を	見直す必要があ		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
	成果	の向上余り	t			>+b++>+>+					
В		と指標の現状 せることができ	は値をあるべき きるか?	水準まで向	(十分	<地はない に成果が出てい <<地がある		で研修会等を開催することで、生産者が技術力が向上 重量が増える可能性がある。			
 -	廃止	:休止の成	果への影響								
有效性			!金の交付を厚 うな影響がある		■ 影響力□ 影響力			を廃止した場合、研修会や現地検討会等の活動の機会 し、組織の衰退につながる。			
評価			流完合·連携		■ 他に手	三段がない		(他に手段がある場合の事務事業名等)			
ТЩ			金又は負担金								
	NyL))	· 日 (<i>注17</i> 6)	13CCN- CON	3V 777 :		合できない 🗌 🎚	連携できない 連携できる	類似事業がない。			
С	事業	費の削減泵	永地				VE 3V # 1				
効	ことか	ぶできないか				き地がない		補助であるので事業対象を明確化するなどし、生産高か 定した収入を得た時点で削減することは可能。			
率性	人件費(延べ業務時間)の削減余地				■ 火心母人	×+44 +5° +>1 1					
評		・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間 を削減できないか?				や地がない		行が主な業務であり、事務局も委任されず職員の負担も ため削減余地はない。			
価	を削	減できないか	·?		□削減分	≷地がある	7.61	C->11119/2/1>2100-81 0			
D	受益機会・費用負担の適正化余地										
公平			金が一部の多	受益者に偏っ				ナ産業の振興のため、事業者として生産者組織に加入			
性評価		て不公平でに	はないか? :平公正になっ	っているか?	□ 見直す	- 必要がある	し、活動	かするものであり、公平である。			
- 17	(1)1次	評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括	振り返り、原	反省点)			
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある						
	B 有	効性	□ 適切	■ 見直す必	必要がある	上	皇帝1 た10 7	、を得た時は、事業費の削減を検討する。			
括	C 効	率性	□ 適切	■ 見直す必	必要がある	工生间が増入	X NE U / CHX/	(を付た所は、事末員の自動性を実践する。			
	D 公	平性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある						
_		向性 < PL/			<u> </u>	1					
(1)			今後の方向		·# # @ & &		上又は休止	すべきとした場合の理由			
	□ 廃止			: 当性①②、有 : 当性①②、有							
	□目的			的妥当性①③		42143					
	□ 事業	統合·連携	[有	効性⑤の結果	!]						
				効性④の結果							
	■ 効率			率性⑦⑧の結 平性⑨の結果							
			·=	中性のの船を	=						
		MET 3 MET NO	. (9/)(11/	. 7 % - 1 % - 1	104 1 2						
(3),	具体的な	な改善計画		(1)のチェック	項目に対し	、具体的にどの	ように取り組	むのか			
				期待される対				べき具体的な内容			
は育	成する役	割りを果たし		しのため、組織			上所期の目的	りを達成させるため本部の役割、方向性について検討す			

評	面対象年度 ³	平成 <u>21年</u> 月	复	事	務事業評	価 表	<一般用	>				様式1
	事務事業	742113	事事業	務鳥	就被害防除·捕獲対				担		農林水産	部
	政策名	1		産業のまた	与づくり				<u>担</u>	当課ループ	林務水産	
	施策名			産業の振	_ **					話番号	45-5111	
麦	基本事業名	1 農	林漁業	終経営体へ	- の支援					線番号	2362	
	会計	一般会計				事業	□単年月					
	予 款 算		林水産	業費		期間			区 (開始年度 5数年度/	_	4 年度~))
	科坦		業費 業振興	14.		10 thm >+ 🔨	□□期间№	根 正修	复数年度(~)
	目 目 コード	742113	未1水火			根拠法令· 条例等	鳥獣の保護及	をび狩!	猟の適正化は	こ関する法律		
	関連計画											
1.	現状把握	(1)事務事	業の目	的と指標	< Do >							
	手段 (事務	多事業の概 要	년)						平成2	21年度実績		
する 市	るとともにその被 iが捕獲従事者。	:害防止策を として依頼し	·図る。 ノている抗	捕獲隊に有	こ発生しているので、社 害鳥獣の捕獲を指示めている。(捕獲報償	ミし、農作物へ		主	有害鳥獣駆 1,125頭(羽 捕獲隊への)、5,845千円	円)	
′⊣ ∟	1.四百八十八人 6.4元	1/ W.4C114	、TX 口 -	ノキエかんパーファ・	N C C. OO (1H) SE IN IN	(並で入り)		な活	平成2	22年度計画	ii .	
								動	7 172	2十汉미 巨	1	
									有害鳥獣駆捕獲隊への			
	活動指標(事	事務事業の活	舌動量)				単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	有害鳥獣の捕	獲指示					件		(美額)	(美額)	(見込)	(見込)
	D H Vid HV - 4"	7X1H-1					· · ·					
1												
ウ												
		、何を 象にしている	5のか)	対象	指標 ^{(③対象の} 表	大きさを 表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	農林水産物			被害件数			件		215	224	240	240
イ												
											1	
ウ	(+)	たふ			(色类図の				00年度	△4年帝	22年度	00年度
	思 凶 ``	象を どうしたい		成果	指標 ^{(⑤} 意図の 達成度:	を表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	有害鳥獣による 害を防止する	5農林水産物	勿の被	捕獲見込	み頭(羽)数		頭(羽)	1	1,024	1,125	1,200	1,200
1	1 204								+		1	
ゥ				+								
·)	(Ŀ	んな結果に			·— (⑦対	5果の達成度			20年度	21年度	22年度	23年度
		たな結果に 結び付けるの	のか)	上位		表す指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	経営体質が強	化される		経営体が抗	施業を実施した面積		ha		434	390	612	642
1											ı	
(2) 事業費			単位∶千円	(3)事務事業の3	環境変化·住	民意見等					
		21年月		22年度	この事務事業				事務事業を			
_	当初予算額	(決算 5,0		(予算) 5,873	きっかけで開始 鳥獣による農林水				は5年前と 大による農林オ			
予算	ヨ初ア昇額 補正及び流り		796	0,010	ため昭和44年から			の特別	別措置に関す 止対策が強化	る法律が平		
額	新正及び流り 予算合計	-	347	5,873				音かれ	上对水机为工	1€401-0		
	7 异口司	0,8	41	5,873								
	国庫補助金		0		この事務事業	に対して誰か	いらどんな意		この事務事	業に対する		出された
	県支出金	4	176		見や要望が寄	iせられている 	3か?		意見			
決算	地方債		0		農・林家から被害にている。	防止対策の強	化を要望され	特に	こなし。			
异 額	その他		0		~ · ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~							
	一般財源	6,3	301									
	支出合計	6,7	777									

	务事業 ード	742113	事務 鳥	獣被害防除	·捕獲対策事	業			担 当 部 担 当 課	農林水産部 林務水産課
	- r			to1年度 (社	1笛)	亚式22	年度 (当江	マロー		[23年度 (見込)
		単位∶千円	単独	戊21年度 (決 補助	(异) 合計	単独	:年度 (当初 補助	J 丁 异) 合計	単独	,23年度 (兒 <u>坯)</u> 補助 合計
1	報	<u></u>	+124	(ATH)	HRI	+324	LHILL	HRI	+124	інші ЦПП
2	給	料								
3		1 手 当 等								
4	共	済 費								
7	賃	金								
8	報	償 費	5,476	476	5,952	4,319	531	4,850	4,850	4,850
9	旅	費				5		5	5	5
10	交	際費	_		_					
11	需	用費	5		5	85		85	85	85
		耗品費	3		3	60		60	60	60
	燃食									
		刷製本費								
		熱水費								
	修					20		20	20	20
	飼		2		2	5		5	5	5
12	役	務 費	1							
		信運搬費								
	広	告 料								
	手									
	保									
13	委	託 料	300		300	460		460	460	460
14		料及び賃借料	5		5	5		5	5	5
15		請負費								
16		材料費								
17		財産購入費品購入費品購入費	48		10					
18 19		中期 八 頁 注補助·交付金	467		48	468		468	468	468
20	扶	助費	401		407	400		400	400	400
21	貸									
22		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
23		和子·割引料								
24	投資	及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰	出金	2.221	150	0.555	5.040	501	5.050	5.050	5.050
		計	6,301	476	6,777	5,342	531	5,873	5,873	5,873
				476	476		531	531		
	地	原 方 債		410	410		991	991		
ㅁㅗ	辺									
財源	過									
内	合	併特例債								
訳										
	そ	の他	<u> </u>							
	-	般 財源	6,301		6,301	5,342		5,342	5,873	5,873
		計	6,301	476	6,777	5,342	531	5,873	5,873	5,873
7	補助率	国								
		県 サ 坂		1/2 • 1/3			1/2•1/3			
補		基本額			- 0=: ==		T		±0 c / = · · ·	
平		初多算			5,051 千円		平成 21 年	F度 財源内	訳の「その他	りの内訳
成		正予算			1,796 千円					
21	第1		-	第5回	o 日)	1 406	乡 加弗尔	の車券中佐	のための問じ	∧ ≐H □FI
年	第 2			第6回(:第7回	3月)	1,486	沙川賀寺 (の争業美施	のための収 <i>)</i>	、
度	第3			流 用		310				
		<u>凹</u> 算 合 計			 6,847 千円	910				
	J'	7 ㅁ 하			0,041 [7]					

	務事業 −ド	742113	事 務 事業名	鳥獣被害	防除·捕	担当部農林水産部担当課林務水産課				
2		邓 <see></see>				評価		評価理由		
A	・この (基)	本シートの結り	目的は基本事果)に結びつく		_	ついている す必要がある		防除・捕獲することが農林業経営体への支援となって 結びついている。		
目的妥当	・このか	. ?	当性 市が行わなけ; 、達成する目自		■ 妥当	である す必要がある	被害は市	内全域に及ぶため、公共で行うべきである。		
性評価		泉・意図の妥 象や意図を限	当性 記定又は追加す	ナベきか ?		である を見直す必要がある を見直す必要がある		・林水産物であり妥当である。 意図については、有害鳥 疲害の防止なので妥当である。		
	成男	見の向上余 均	也							
В	上さ	せることができ			(十分	余地はない }に成果が出ている) 余地がある	体制の再編・強化を図ることで効率的な事業を推進できる。(抗 獲隊の統合)			
有	廃」	E·休止の成	果への影響							
9効性評	ようた	な影響があるた			■影響		有害鳥獣	による農林水産物への被害が拡大する。		
価	・目自	的を達成する	応廃合・連携 ためには、この					(他に手段がある場合の事務事業名等) 霧島市イノシシ等被害防止事業		
	・類(り成	果の向上が期	廃合や連携を 明待できるか?	·図ることによ		手段がある 充合できない □ 連携 充合できる ■ 連携		農政の電気柵設置補助事業等を有効活用しながら 連携を図る。		
C 効	·成		余地 事業費を削湯 この適正化、住			余地がない 余地がある	捕獲実施にあたっては、銃器、罠ともに銃砲用火薬類や道具などの経費がかかり、その一部を報償費で賄っているため、 獲報償費の削減は捕獲隊の協力、同意が得られない。			
率性評価	・や! を削 ・成! でき	の方を工夫して 減できないか 果を下げずに ないか?	職員以外の対	系る業務時間		余地がない		での事務(被害調査、捕獲指示等)の統一化を図り、 事務事業を行う。		
D公平性評価	·事 不公	業の内容が一 、平ではないか	負担の適正 ・部の受益者に か? 、平公正になっ	に偏っていて		・公正である す必要がある	全ての農	林水産物に対応しているため公平・公正である。		
	(1)1岁	ママッド (課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	(省点)		
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	が要がある					
	B 有	· 対性	□ 適切	■ 見直す必	必要がある			より捕獲隊の維持が困難な地区があり十分な捕獲の成 、、組織の再編等を検討し、有効性効率性の改善に努		
括	C 效	率性	□ 適切	■ 見直す必		める。	7 20 7 20	() = 1,5 () =		
	D 公	平性	■ 適切	□ 見直す必	が要がある	,				
_		i向性 < PL/		101	<u> </u>	[(a) 	71141.1	- A 1 - 15 A - 777 -		
(1)			今後の方向	性 ·当性①②、有	**************************************	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	くは休止す	すべきとした場合の理由		
	□ 廃止			·当性①②、有 ·当性①②、有						
		再設定		的妥当性①③						
		É統合·連携		効性⑥の結果	_					
			早向上) [有 卜削減) [効							
		性改善(コス)		平性のの結果						
			⇒(3)具体的		_					
		•				·				
		な改善計画				し、具体的にどのよう				
近年るの	、野生鳥 で、被害	獣による農作	み概要及び! 物の被害が恒 」確に把握する	国常的に発生	してい 排		捕獲隊の紛	、き具体的な内容 充合)・強化を図ることで有効な捕獲ができる。また、事 事業を行う。		
捕	害鳥獣拍		蔓を指示し、農 に行い、被害○							

評価	面対象領	手度 平	成 21年月	Ī	=	務事業	禁 評	価 表	<補助金	:	日金田 >			様式2
	事務事	業	742114	事事業	務 ***	業就労改善			, IBM177	. <i>)</i>	_ 		農林水産	部
	政策名		3 活		ロ 産業のま	ちづくり							林務水産	
	施策名				産業の振							話番号		
į	基本事業	Ě名	1 農	林漁業	経営体へ	の支援					内	線番号	2362	
		会計	一般会計					事業	□単年					
	予算	款		林水産	業費			期間			(開始年月	麦 H3	年度~)
	科	項目		業費 業振興	弗			101pt 71 V	□□期間	収 正復	製年度(~)
		コード	742114	未抓买	· 頁			根拠法令· 条例等				なし		
	補助金	È	■団体	の運営	 :支援	 □ 団体の	活動支	<u> </u>	L イベント等の	の補助		議会等負		
_	現状把		1)事務事	業の目	的と指標	< Do >								
			事業の概要											
林美	業従事者	の福利原		、技術、				の充実を図る) 2,454,50		良西部森	森林組合(7)	人) 547, 9	900円	
			進事業補具		掛け金の-	一部を助成し	当該制	産筌への加入	、を促進するこ	レにトリ) 林	者の計労冬	(此を改善)	
就き	労の長期	安定化り	こ資すること	を目的	とする。									
炉 E	支 果 部 綵		(17人) 61	11, 10	0円 北	.好及綵外組 [*]	合(42人)	846, 400	円 姶良西	部森夕	N組合(11人) 338, 70	00円	
補	助金·負	負担金(D交付先	霧島市	方内の3つの	の森林組合		補且	加金の対象線	至費	社会保険、追			
	活動推	標(事	務事業の活	岳動量)					単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	補助金額	額							千円		4,968	5,673	7,294	7,294
1	交付対象	象者							人		123	134	134	134
ゥ														
	対象	(誰、 対象	何を !にしている	のか)	対象	指標(②	到対象のフ 表	大きさを ·す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	林業従	事者			林業従事	者数			人		123	134	134	134
1														
	意図	(対象	きを どうしたい	のか)	成果	指標(⑤	意図の 達成度を	を表す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	林業従れる	事者の勍	党条件が	改善さ	社会保険	等加入対象征	従事者		人		38	64		64
1		事者の勍	党条件が	改善さ	退職金制	度加入対象征	従事者		人		47	70	70	70
ゥ	400													
	結果		な結果に 皆び付けるの	ひかぇ)	上位	成果指標		果の達成度 長す指標)	単位		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	経営体質	-		- 14)	経営体が	施業を実施し		X / 10 ///	ha		434	390	612	642
1														
(2) 事業責	}		単	位:千円	(3)事務	事業の現	境変化·住	民意見等					
			21年原(決算		22年度 (予算)			は、いつ頃、 合されたのか			事務事業を は5年前と			
予	当初于		7,1	59	7,294			業従事者の就 保を目的とし		特に	変化なし。			
算額		予算												
百只	予算台	計	7,1	59	7,294									
	国庫補	輔助金				この事	務事業は	 こ対して誰か	らどんな意		この事務事	業に対する	る議会から	出された
	県支出	出金	1					せられている			意見			
決	地方債	責				特になし。)			特に	なし。			
算額	その他	<u>b</u>												
	一般則	才源	5,6	73										
	支出台	計	5,6	73										

 事務事業
コード
 742114
 事務
事業名
 本業就労改善推進活動支援事業
 担当部
 農林水産部

 担当課
 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

	団 体名 協議会名							Ê	:員数	平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定)		平成23年 (予定)	
	松白ま	部森林	织合							補助金	1,485	補助金	2,434	補助金	2,434
4	炉区牙	110本本作	組口							自主財源	2,971	自主財源	4,867	自主財源	4,867
1	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	4,456	合計	7,301	合計	7,301
	地区		0				0	0	0	自主財源率	67%	自主財源率	67%	自主財源率	67%
	北松片	森林組	<u></u>							補助金	3,301	補助金	3,333	補助金	3,333
2	시아	林木个个允丑								自主財源	13,938	自主財源	6,665	自主財源	6,665
2	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	17,239	合計	9,998	合計	9,998
	地区	-		0						自主財源率	81%	自主財源率	67%	自主財源率	67%
	於白田	部森林	细合							補助金	887	補助金	1,527	補助金	1,527
2		一口・オオイクロー	紅口							自主財源	1,774	自主財源	3,055	自主財源	3,055
3	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	2,661	合計	4,582	合計	4,582
	地区				0	0				自主財源率	67%	自主財源率	67%	自主財源率	67%
										補助金		補助金		補助金	
,										自主財源		自主財源		自主財源	
4	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
5	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
6	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
8	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			1			1				補助金		補助金		補助金	
_										自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
10										自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			i.	†						補助金負担金合計	5,673	補助金負担金合計	7,294	補助金負担金合計	7,294
										自主財源合計	18,683	自主財源合計	14,587	自主財源合計	14,587
										自主財源率	77%	自主財源率	67%	自主財源率	67%

負担金の状況

単位:千円

	団 体名·協議会名				平成23年度			D支払先	
	四 体 石 · 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	7,159
補正予算	
合 計	7,159

	<補正予	算内訳 >					単	位:千円
I	第1回		第4回		第7回	回		
I	第2回		第5回		第8回	1		
I	第3回		第6回					

	務事業]ード	742114	事務事業名	林業就労	改善推進	活動支	援事業				<u>₩水産部</u> 務水産課
2 🖺	評価の	部 <see></see>				評価				評価理由	
А	政	策体系との の事務事業の 基本シートの結	至合性)目的は基本		■ 結びつ □ 見直す				者の就労条件れるため結びつ		れば、林業経営の体質
目的妥当	• 7	共関与の妥 よぜ市が補助ご か?		ければならない	■ 妥当で		ある	の改善が		業振興を行う必	は就労条件(身分保障) 公要、施行面積の増加を
性評価		象・意図の3 対象や意図をM		すべきか?		見直す	必要がある 必要がある		者を対象として		就労条件を改善するこ
В	• 反	果の向上余	犬値をあるべき	き水準まで向	■ 向上第 (十分	に成果な	が出ている)			って、補助事業・ることはできな	の改善等はできないたい。
有効性評	・神 しが	た場合にどの。	担金の交付を ような影響があ	廃止又は休止 らるか?	■影響が			認定事業 経営を圧	迫する。		に 障等の費用が増加し、
価	• ft	似事業との 也に同様の補明 充廃合や連携・	助金又は負担	金はないか?		≦段があ 合できな	る :い □ 連携		(他にヨ	手段がある場合	の事務事業名等)
C 効	・ダこと	とができないか	ゝけて、市の負 ゝ?	担を削減する	□ <u> 統</u>		l I		手基金)の事業	で負担割合1/	(3が決定している。
率性評価	٠.٩	件費(延べず やり方を工夫し 削減できない	て事務事業に	削減余地 工係る業務時間	■ 削減分			補助金交	付事務である/	ため、削減する	部分がない。
D公平性評価	・補 てい	益機会・費用 甫助金又は負打 いて不公平で 受益者負担が	担金が一部の はないか?	受益者に偏っ	■ 公平·			上位組織	補助制度であ	るため、受益機	会は公平である。
総	Α	次評価者(認 目的妥当性	■適切	□ 見直す必		(2)全	体総括(振	り返り、反	省点)		
括	C	有効性 効率性 公平性	■ 適切■ 適切■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必	必要がある	適切な	事業である	ため、現状	維持とする。		
		方向性 < PL		•							
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	止 的再設定 業統合・連携 効性改善(成! 率性改善(コス 平性改善	[目的3 [目的3 [年 [作 【 果向上) [存 スト削減) [ダ [2	列性 妥当性①②、有 妥当性①②、有 妥当性①②、有 目的妥当性①③ 有 対性⑤の結果 可効性④の結果 功率性⑦⑧の結果 、公平性⑨の結果 、いな改善計画	効性⑥の約 の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -		(2)廃止5	ては休止す	けべきとした場	 合の理由	
(3).	具体的	りな改善計画		(1)のチェック	項目に対し	、具体E	りにどのよう	に取り組む	このか		
				、					まき具体的なP	内容	

評価対	付象年度	平成 21年度	Ī	事	务 事業	評価	表	<補助金	·負担金用	>		様式2
	務事業	742613	事 務事業名	海面	環境保全事	事業					農林水産	
	コード <u></u> 対策名	3 活7	事業石力ある産業	上 坐のまt	らづくり					担 当 課グルーグ	林務水産	
	施策名 1000年11月11日 1000年11月11日 1000年11月11日 1000年11月11日 1000年11月11日 1000年11月11日 1000年11月11日 1000年11月1日 1000年11月 1		林•水産							電話番号		
	·事業名		産基盤の		· ·					内線番号		
	会計	一般会計					= 114	□単年周	きのみ			
予 算	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		木水産業	費			事業 期間	■ 単年原	を とくりゅう とく こく	F 度 S 59	年度~)
科	坦		主業費	-#4				□期間図	艮定複数年度	~)
目	コード		 主業振興	質			拠法令· 条例等	なし				
	助金 担金別	□団体の	の運営支	援	■ 団体の流	活動支援		イベント等の	·補助 □	協議会等負	担金	
1.現	状把握	(1)事務事業	業の目的	と指標	< Do >							
手	段(事	務事業の概要)									
1田 川 佗	いて伝信しい	魚船の航行を阻	1古 9 分の	' C,里你	炎寺で関うし を	ボム 9 のだり	生尹未にり	での食 用ツー 可	を別成する。			
補助	〕金·負担st	金の交付先	福山町漁	業協同	組合		補且	力金の対象経	費 福山町漁	業協同組合の	活動に要す	る経費
活	動指標(事務事業の活	動量)					単位	20年月 (実績		22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア海	面環境保全	とのための除去		(実施回	 数			旦	(天規	2 2		(光区)
イ海	面環境保全	とのための除去		きの参加	者数			人		40	40	40
ウ												
対		推、何を け象にしているの	のか)	対象	指標 (3)	対象の大き 表す		単位	20年月		22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア海	面漁業者		海	面漁業	者数			人		27 125		
1												
意	t 🗷 (Ż	対象を どうしたい <i>の</i>	かか)	成果		意図の 達成度を表	す指標)	単位	20年月 (実績		22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア漁	船被害を軽	経減する。	安	全に安	心して漁場を i	運行する漁	船	船		54 54	54	54
1												
ウ												
結	果 (と	ごんな結果に 結び付けるの	(カュ)	上位	成果指標	(⑦結果の を表す		単位	20年月		22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア効	率的な生産	至を行う基盤が		流した利	焦魚の数	- 247	10.00	万尾	46.		40.7	40.7
1												
(2)	業費		単位	: 千円	(3)事務事	業の環境	変化·住	民意見等				,
		21年度(決算)		年度 発算)		多事業は、 けで開始さ		どのような ・?		美を取り巻〈環と比べてどう		
予当	当初予算 額	1 3	36	136				施されていた	変化なし。			
算補	非正予算額	Į į	_		が、打ち切り関係者の強	予算となっ い要望によ	た。しかし り単独補助	ながら、漁業 カとした。				
額予	序算合計	13	36	136								
	国庫補助金	<u>. </u>	\neg		- 0 = 7		11	· > 1° / 4× *	- 0 = 7	= *	2 **	111244
	国 単 補 助 ュ 県 支 出 金					8事業に対望が寄せる		Nらどんな意 るか?	この事務 意見	事業に対す	6議会から	出された
決地	也方債							被害解消及	特になし。			
算者	一の他				び海岸周辺 辺住民)。	かされいに	なつた(漁	業関係者、周				
	−般財源	13	36									
	5出合計	13	36									
H												

事務事業
コード742613事務
事業名海面環境保全事業担当部
担当課農林水産部
担当課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

	団 体名 協議会名										平成21年 (決算)	平成22年 (予定)		平成23年/ (予定)		
	ᇐᆡ	山田下泊	3坐+力[司組合							補助金	136	補助金	136	補助金	136
,	佃山	一一二次	果果伽	可組占							自主財源	221	自主財源	221	自主財源	221
1	文	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	357	合計	357	合計	357
	坩	拉区								0	自主財源率	62%	自主財源率	62%	自主財源率	62%
											補助金		補助金		補助金	
2											自主財源		自主財源		自主財源	
_		1 -2-	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	也区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
3											自主財源		自主財源		自主財源	
3	文	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	拉区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
4	文	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	拉区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
5											自主財源		自主財源		自主財源	
5	文	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	拉区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
6											自主財源		自主財源		自主財源	
0	文	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	也区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
7											自主財源		自主財源		自主財源	
′	文	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	拉区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
8											自主財源		自主財源		自主財源	
٥	交	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	也区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
9											自主財源		自主財源		自主財源	
9	文	才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	拉区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
10	_										自主財源		自主財源		自主財源	
10		才象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	坩	也区	-								自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				討	-						補助金負担金合計	136	補助金負担金合計	136	補助金負担金合計	136
	_	_		· <u> </u>	· <u> </u>	· <u> </u>					自主財源合計	221	自主財源合計	221	自主財源合計	221
											自主財源率	62%	自主財源率	62%	自主財源率	62%

負担金の状況

単位:千円

	団 体名·協議会名				平成23年度			D支払先	
	四 体 石 · 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	136
補正予算	
合 計	136

<補正予算	算内訳 >					単	位:千円
第1回		第4	回	第7			
第2回		第5	回	第8	回		
第3回		第6	回				

	务事業]ード	742613	□ 事 務 □ 事業名	海面環境	保全事業				担 当 部 農林水産部 担 当 課 林務水産課		
2	平価の	部 <see></see>				評価			評価理由		
А	政 5	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図				■ 結びついている			安全な船舶の航海の確保を推進し、漁業者の安定経営を支援することで政策体系に結びついている。		
目的図	公	(基本シートの結果)に結びつくか? 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならない			□ 見直す必要がある ■ 妥当である			漁業の振興及び環境保全への取り組みを支援することは、行政が関与することは妥当である。 対象を漁業者とし、意図を安全航行の確保としたことから適切である。			
妥当性	のカ	のか? 対象・意図の妥当性			□ 見直す必要がある						
評価	·対	・対象や意図を限定又は追加すべきか?			□ 対象を見直す必要がある□ 意図を見直す必要がある						
	成!	果の向上余均	也		쓰스크	.元旦 9 亿	女川のの				
В		・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 上させることができるか?				■ 向上余地はない (十分に成果が出ている) □ 向上余地がある			事業目的以上の成果向上余地はない。		
有効性	·補	廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止 した場合にどのような影響があるか?			■ 影響がある□ 影響がない			安全な航海が確保できなくなる。			
評価	•他	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか?			■ 他に手段がない				(他に手段がある場合の事務事業名等)		
		廃合や連携す		こいか?			\				
C 効	・交こと	美貴の削減分 付先に働きか ができないか	けて、市の負i ?		■ 削減分			事業費の	のほとんどは必要経費であり、削減は難しい。		
率性評価	ج.	牛費(延べ業 り方を工夫して リ滅できないか	て事務事業に付	削減余地 係る業務時間	■削減分□削減分			予算執行	行等の事務のみであることから削減余地はない。		
D公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?			■ 公平·公正である □ 見直す必要がある			安全な船舶の航海の確保を推進し、周辺漁業者全てが受益 者であることから公平・公正である。				
ТЩ	(1)1次評価者(課長)としての評価結果				(2)全体総括(振り返り、反省点)						
総	ΑE	目的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある						
	В₫	剪効性	■ 適切 □ 見直すぬ		グ要がある 適切な事業であ		り、現状維持とする。				
括	С交	加率性 ■ 適切 □ 見直すぬ					ク、グルルが作りてする。				
	D 2	心平性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある						
_		方向性 < PL/		_							
(1)	評価結果にもとづく今後の方向性				• • • •			ては休止す	すべきとした場合の理由		
	□ 廃⊥			·当性①②、有							
		上 勺再設定		·当性①②、有 的妥当性①③		5朱」					
		が		効性⑤の結果							
			=	効性④の結果	=						
				率性⑦⑧の結							
		P性改善 犬維持·継続	_	平性⑨の結果 内な改善計画/	_						
(2)		かか神弘宗		(4) 07	. TE C !- \$4.1	= 4.44	- !!		_ +		
		な改善計画 年度の取組		(1) のチェック 期待される効					3 のか 、き具体的な内容		
	₩	十反の収組	の版 女 汉US	#J]寸C1 (のX/	7 **	十八人	十反にも	メルギロ・ノ	へ C 兵 仲 U 仏 M 合		
1											
1											

評価対象年度	平成 21年度	事	務事業 🏗	評価表	<u><補助金</u>	·負担金用 >			様式2
事務事業コード	742610 事	務 漁業	美資源繁殖施設	整備補助事業		担		農林水産	
 		モロ る産業のまた	5づくり				<u>リョ 課</u> 「ループ		
施策名		水産業の振					話番号	45-5111	
基本事業名		盤の整備				内	線番号	2371	
会計		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		事業	□単年月			. 	
予 款 項	6 農林水 3 水産業			期間		度繰返 (開始年) 限定複数年度(芰 H 17	年度~)
科 <u>增</u> 目 目	2 水産業			根拠法令・		以足段数十 <u>段</u> ()
□ □ <u>· · ·</u>	F 742610			条例等	なし				
補助金 負担金別	□団体の運	営支援	■ 団体の活動	助支援 □	イベント等の	○補助 □協	3議会等負	担金	
1.現状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do >						
	事務事業の概要)								
	カイカ等の産卵場所の 日産育成に努め漁							() ()	
補助金・負担	!金の交付先 福山	町海業協同	組合	補目	加金の対象紹	建 福山町海業	協同組合の	活動に要す	ス経費
	(事務事業の活動量		л <u>ат П</u>	11132	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
1					—	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 補助金交付	団体数				団体	1	1	1]
イ 投入回数(生	丰度内)				旦	1	2	2	4
ウ									
	誰、何を 対象にしているのか)	対象	指標 (③対象	やの大きさを 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア海面漁業者		海面漁業	者数		人	127		125	125
1									
	対象を	成果:	·····································	<i>O</i>	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
	どうしたいのか)) 達成	対度を表す指標)		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア漁業者の経	営が安定する。	イカ柴投力	·数 		本	600	60	60	60
1									
ウ									
結果	どんな結果に	上位	成果指標	の結果の達成度	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う	放流した利		を表す指標)	万尾	(実績) 46.5	(実績) 37.5	(見込) 40.7	(見込) 40.7
77777	生を117季盛が登り	が入りにしてこれ			刀尾	40.5	31.3	40.7	40.7
1		W 4							
(2)事業費	21年度 (決算)	単位:千円 22年度 (予算)	この事務事	の環境変化・住 「業は、いつ頃、 開始されたのか	どのような		を取り巻〈環 比べてどう		
」 当初予算		190		カ等の産卵場所が		水質の低下、水			の高騰によ
予				を形成するために を育成に努めたい		り漁業を取り巻くお	犬況は厳しくれ	なっている。	
額 予算合計	190	190	からの要望により	の平成17年から開	始した。				
			- の声効害	業に対して誰か	いらどんな意		業に対する	る議会から	出された
国庫補助	金								
県支出金	金		見や要望が	で寄せられている		意見			
県支出金 地方債	金					意見 特になし。			
県支出金 決 地方債 その他			見や要望が						
県支出金 決 地方債			見や要望が						

 事務事業
コード
 742610
 事務
事業名
 事業名
 漁業資源繁殖施設整備補助事業
 担当部
 農林水産部

 担当課
 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

			互	体名	3・協	議会	名				平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定)		平成23年 (予定)	
	ᇶ	i.l.mt%	強業協同	目织合							補助金	190	補助金	190	補助金	190
4	佃	ІШП Л	思耒 肋	可組合							自主財源	210	自主財源	210	自主財源	210
1		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	400	合計	400	合計	400
		地区								0	自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%
											補助金		補助金		補助金	
0											自主財源		自主財源		自主財源	
2		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
2											自主財源		自主財源		自主財源	
3		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
4											自主財源		自主財源		自主財源	
4		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
_											自主財源		自主財源		自主財源	
5		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
6		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
7											自主財源		自主財源		自主財源	
7		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
•											自主財源		自主財源		自主財源	
8		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
•											自主財源		自主財源		自主財源	
9		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
10											自主財源		自主財源		自主財源	
10		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				言							補助金負担金合計	190	補助金負担金合計	190	補助金負担金合計	190
											自主財源合計	210	自主財源合計	210	自主財源合計	210
											自主財源率	53%	自主財源率	53%	自主財源率	53%

負担金の状況

単位:千円

	団 体 名·協議 会 名				平成23年度		負担金0	D支払先	
	四 体 石 . 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	190
補正予算	
合 計	190

<補正予算	算内訳 >					単	位:千円
第1回		第4	回	第7			
第2回		第5	回	第8	回		
第3回		第6	回				

	务事業]ード	742610	│ 事 務 │ 事業名	漁業資源	漁業資源繁殖施設整備 補			補助事業			睘杯水産部 林務水産課
2	平価の	部 <see></see>		1		評価			Į-	担当課	T T 373 'S YEAR HAIV
Α	政 :	東体系との の事務事業の 本シートの結	経合性 目的は基本事		■ 結びつ)投入を行うこと 策体系に結びて		ま者の経営安定が図られる
目的妥当	• <i>†</i> 3	共関与の妥 ぜ市が補助又 か?		ればならない	■ 妥当で □ 見直す		ある)投入事業によ きるために妥当		げ漁業者の経営安定を図
性評価		象・意図の妥 ・象や意図を限		ナベきか?	■ 適切で		必要がある	対象は流	魚協、意図は漁	業者の経営	安定であって適切である。
					□ 意図を	見直す	必要がある				
В	• 成	果の向上余り は果指標の現状 させることができ	弋値をあるべき	水準まで向	■ 向上第 (十分	に成果か	で出ている)	事業目的	的以上の成果同	句上余地はな	٧٠°
有効性部	• 補	止・休止の成 前助金又は負担 上場合にどのよ	1金の交付を厚	を止又は休止	■影響が			湾内の資	資源の維持培養	髪が難しくなり	、また漁獲高が減少する。
評価	•他	似事業との制 に同様の補助 を廃合や連携す	金叉は負担金	金はないか?		=段があ			(他に手	手段がある場 合	合の事務事業名等)
C 効	・交こと	業費の削減 付先に働きか ができないか	けて、市の負 ?		■ 削減分	≷地がなり	, 1		D殆んどは必要	戸経費であり、	削減は難しい。
率性評価	・や を削	件費(延べ業 かり方を工夫して 削減できないか	で事務事業に い?	係る業務時間	■削減分□削減分				としては、予算報 人上の削減は難		入立会いのみであるの
D公平性評価	・補 てい ・受	益機会・費用 前助金又は負担 いて不公平でに 益者負担が公	旦金が一部のう はないか? \平公正になっ	受益者に偏っ oているか?	□ 公平· ■ 見直す	「必要が	ある		2偏った事業で	あって、公平	性には欠ける。
総括	A I B 7 C 3	次評価者(課 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	【長)としての ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切 □ 適切	評価結果 □ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必 ■ 見直す必	必要がある 必要がある	平成		協の合併か	<u> </u>		こより中座されることが決 である。
		方向性 < PL									
(1)		果にもとづく		<u> </u>			(2)廃止5	ては休止す	「べきとした場	合の理由	
	□ 事		[目的妥 [目 [有 [向上] [有 .ト削減] [効 [公	率性⑦⑧の紀 平性⑨の結果	効性⑥の約 の結果] - - - - - - - - -						
(3)	具体的	な改善計画		(1)のチェック	項目に対し	、 具体 的	りにどのよう	に取り組む	か		
漁	業資源の	全年度の取組 の増殖に係るす ける公平性をも	支援策としての	本事業のあり					き具体的な P き対応する。	內容	

評価対象年度	そ 平成 21年度	事務事業評	価 表	<補助金·	負担金用 >			様式2
事務事業コード	742615 事	務 漁業資源放流支援事	<u></u> ≨業(パイロット	事業)	担担		農林水産部	
政策名		▼五 ┃ る産業のまちづくり					林務水産語 水産グル-	
施策名		水産業の振興				話番号		
基本事業名		盤の整備				線番号	2371	
会記			事業	□単年度				_
予款			期間		繰返 (開始年度 字海数年度/		年度~))
科 <u>項</u> 目 目			田伽注今.		定複数年度(~)
		以央 頁	根拠法令· 条例等	なし				
補助金 負担金別	□ 団体の運営	営支援 ■ 団体の活動す	_ 支援 □	イベント等の		議会等負担	————— 担金	
1.現状把握	(1)事務事業の目	目的と指標 < Do >						
	事務事業の概要)							
種苗について	は鹿児島県栽培漁業							
補助金·負担	3金の交付先 錦江	漁業協同組合•福山町漁業協同	引組合 補助	金の対象経動				
活動指標	(事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 放流回数				耳	4	4	4	4
1								
						 		
ウ		(0.114			22 7 15	- : -		/
	(誰、何を 対象にしているのか)	対象指標 (③対象の	り大きさを 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア海面漁業者		海面漁業者数		人	287	275	273	273
1								
	(対象を	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			20年度	21年度	22年度	23年度
意図	どうしたいのか)		要を表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア漁業者の経	圣営が安定する	霧島市漁獲高		t	465	465	465	465
1								
ウ								
	/ 13 / よが井田 /ァ	(7)	ゲ田の法出産		20年度	21年度	22年度	23年度
結果	(どんな結果に 結び付けるのか)		結果の達成度 と表す指標)	単位	(実績)	(実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア効率的な生	E産を行う基盤が整う	放流した稚魚の数		万尾	46.5	37.5	40.7	40.7
1								
(2)事業費		│ 単位:千円 (3)事務事業の	環境変化·住民	辛見意				
	21年度 (決算)	22年度 この事務事業	着は、いつ頃、る 始されたのか	どのような	事務事業をは5年前と			
→ 当初予算		194 年々資源が枯渇			湾奥に位置する			
予 三 河		#持や増大を図る れた。	ため、平成8年月		高齢化、漁業資源 は厳しい。	の減少等、	漁業者を取り	り巻く環境
額 予算合計		194		,	XMX 0 1 0			
]] 	131	101						
国庫補助	1金	一一一	 美に対して誰か	にどんか音		(業に対す)	z 議会から	出された
県支出金			寄せられている		意見	未になって	の成女カラ	ЩС101С
決地方債		漁業を取り巻く環			特になし。			
算 その他		流事業は継続して	ほしい(地元漁	劦)。				
一般財源	194							
支出合計								
~ = = = =	101							

 事務事業 コード
 742615
 事務 事業名
 漁業資源放流支援事業(パイロット事業)
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		_	4	体名	3・協	議会	名	_			平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定		平成23年 (予定)	
	盆	記丁渔当	坐協同	组合·湖	S.LIET?	ム 日 学協!	同組合				補助金	194	補助金	194	補助金	194
1	21	P/////								ı	自主財源	291	自主財源	291	自主財源	291
•		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	485	合計	485	合計	485
		地区							0	0	自主財源率	60%	自主財源率	60%	自主財源率	60%
											補助金		補助金		補助金	
2				ı	ı						自主財源		自主財源		自主財源	
_		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
3				1			ı			ı	自主財源		自主財源		自主財源	
Ů		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
4				I			ı			ı	自主財源		自主財源		自主財源	
7		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区				自主財源率		自主財源率		自主財源率						
											補助金		補助金		補助金	
5				ı			1			ı	自主財源		自主財源		自主財源	
Ŭ		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
6											自主財源		自主財源		自主財源	
Ŭ		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
7				ı			1			ı	自主財源		自主財源		自主財源	
′		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
8				ı			1			ı	自主財源		自主財源		自主財源	
Ŭ		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
9											自主財源		自主財源		自主財源	
J		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
10				ı	ı		ı			ı	自主財源		自主財源		自主財源	
.5		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				計	-						補助金負担金合計	194	補助金負担金合計	194	補助金負担金合計	194
						自主財源合計	291	自主財源合計	291	自主財源合計	291					
											自主財源率	60%	自主財源率	60%	自主財源率	60%

負担金の状況

単位:千円

	団 体名·協議会名				平成23年度			D支払先	
	四 体 石 · 励 硪 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	194
補正予算	
合 計	194

<補正予算	算内訳 >					単	位:千円
第1回		第4		第7	回		
第2回		第5	回	第8	回		
第3回		第6					

	事業 ード	742615	事 務事業名	漁業資源	放流支援	事業()	パイロット事	担			
2 計		那 <see:< th=""><th></th><th></th><th></th><th>評価</th><th></th><th></th><th>評価理由</th></see:<>				評価			評価理由		
A	・この (基)	本シートの糸	の目的は基本 吉果)に結びつ		■ 結びつ □ 見直す				政流することによって漁協の経営安定につながり効率 を行う基盤が整うので政策に結びついている。		
目的妥当			当性 又は負担しない	ければならない	■ 妥当で □ 見直す		ある		放流事業により漁業者の経営安定を図ることができ,霧 接する湾奥の活性化にもつながることから妥当であ		
性評価		泉・意図の 象や意図を	妥当性 限定又は追加	すべきか?		見直す	必要がある 必要がある		湾奥の活性化は漁協だけでなく、それを利用する一般 象にしているので妥当である。		
В	•成: 上さ	せることがて	状値をあるべき ごきるか?		■ 向上第 (十分	に成果な	が出ている)	事業目的	以上の成果向上余地はない。		
有効性	·補.	助金又は負	成果への影響 担金の交付を ような影響があ	廃止又は休止	■影響が				放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が 、また漁獲高が減少する。		
評価			統廃合・連携		■ 他に手	段がな	,1		(他に手段がある場合の事務事業名等)		
	•統	廃合や連携	助金又は負担 することができ				い □ 連携				
C 効	・交 こと	ができないか	かけて、市の負 ゝ?	担を削減する	■ 削減分			事業費の	のすべてが放流時の用船代等であり、削減は難しい。		
率 性 評 価	ج.	•		削減余地 係る業務時間	■ 削減分□ 削減分			人件費 <i>l</i> がない。	は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地		
D公平性評価	・補. てい	助金又は負 いて不公平で	刊負担の適 担金が一部の はないか? 公平公正にな	受益者に偏っ	■ 公平·				を支給するのは各漁協であるが、その稚魚は公共の漁 されるため、受益者は漁業者のみでなく、遊漁者等広 なる。		
I . F	(1)1%	欠評価者(記	果長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	(省点)		
総		的妥当性	■適切	□見直す必							
括	C 效	i効性 加率性 2平性	■ 適切■ 適切■ 適切	□ 見直す必 □ 見直す必 □ 見直す必	必要がある	適切	な事業であり)、現状維持	寺とする。		
3 4		方向性 <pi< th=""><th></th><th> </th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pi<>			<u> </u>						
_			〈今後の方向	性	•		(2)廃止又	は休止す	すべきとした場合の理由		
	□ 廃山			妥当性①②、有 妥当性①②、有							
	□ 休山□ 目的	└ り再設定	2,	5 = 1生①②、4 目的妥当性①②	//··	市米」					
	□ 事業	Ě統合·連携		す効性⑤の結果	_						
				す効性④の結果 助率性⑦⑧の絹							
		≝性改善(コ) ^Z 性改善		が平住ののが 公平性⑨の結果							
	■ 現物	犬維持・継続	⇒(3)具体	的な改善計画	は不要						
(2)		かみ無対応	<u> </u>	(1) 07 - 11	· ** C /- *- !	= 4.	41- UA LZ	I- 50 11 40 +1	\@#\		
		な改善計画 年度の取績		(1) のチェック 期待される交					300か ぶき具体的な内容		

評価対象年度	平成 21年度	事務	事業評	価 表	<u><補</u> 助金	· <u>負担金用 ></u>			様式2
事務事業コード	742614 事	務 漁業資	逐源放流支援事業			担		農林水産	
」 		乗台 5産業のまちつ					! 当 課 `ループ	林務水産	
施策名		水産業の振興	• •				話番号	<u>45-5111</u>	
基本事業名	2 生産基準	盤の整備					線番号	2371	
会計				事業	□ 単年原	そのみ			
予 款				事 業 期間		を繰返 (開始年)	芰 H 18	年度~)
科 🖳	14 /				□期間	見定複数年度(~)
目目		仮興賀		根拠法令· 条例等	なし				
補助金 負担金別	□ 団体の運	営支援 ■	■団体の活動支		イベント等の	補助 □協	諸会等負	担金	
1.現状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do >						
	事務事業の概要)	** = 1 1= 1 10		7.) wllin-V	9 V# L - D - 17	1)0 1/1 P Vt P 0 1/1	اور ورساس ورسواب	V	
性田(ピンメール)	, 000尾)の放流を行	ソーとにより、質	原の維持増殖に劣	すめ るとともにほ	思愛の旧上を図	り、地区無民の生	. 座を局め生	店の女正を	최 ()
補助金·負担	!金の交付先 錦江	漁業協同組合		補且	加金の対象経	費 錦江漁業協	同組合の活	動に要する網	卒費
	(事務事業の活動量			1113-2	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
	(事份事業や旧勤重	,				(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア放流回数					□	1	1	1	_
1									
ウ									
	(誰、何を 対象にしているのか)	対象指	(③対象の) 表	大きさを そす指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア海面漁業者		海面漁業者数		, , , , , , ,	人	160		148	148
1									
	(対象を	-N EE 464	(⑤意図の		W (1-	20年度	21年度	22年度	23年度
<i>1</i> 5. 24	どうしたいのか)	_	達成度を	を表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア漁業者の経	営が安定する	霧島市漁獲高	iii		t	465	465	465	465
1									
ウ									
	(どんな結果に	上位成!	= 164= (⑦結:	果の達成度	77 \7-	20年度	21年度	22年度	23年度
4世 田 ((こんは胴木に							(- 1 1 1 1	(見込)
和未	結び付けるのか)		未知像 を表	表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(見込)	
和未	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う	放流した稚魚	未知像 を表		万尾	(実績) 46.5	(実績) 37.5	(見込)	40.7
ア効率的な生	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う	放流した稚魚	未知像 を表 の数	表す指標)	万尾				
ア 効率的な生	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う	放流した稚魚	未知像 を表	表す指標)	万尾				
ア効率的な生	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う	放流した稚魚	未知像 を表 の数	表す指標) 環変化・住 は、いつ頃、	万尾 民意見等 どのような	46.5 事務事業を		40.7 環境は、開始	40.7
ア 効率的な生	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算)	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273	を の数 3) (おし業の) この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇し	表す指標) 「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「 「	万尾 弐意見等 どのような ? 水資源の維	46.5 事務事業を は5年前と 漁業者の高齢化	37.5 E取り巻く環 比べてどう や漁業資源	40.7 環境は、開始 変わったの で減少など	40.7 台時期又 か?
所 未 ア 効率的な生 イ (2)事業責 当初予算 補正予算	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273	を の数 3)上級し業の この事務事業 きっかけで開始	表す指標) 「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「 「	万尾 弐意見等 どのような ? 水資源の維	46.5 事務事業を は5年前と	37.5 E取り巻く環 比べてどう や漁業資源	40.7 環境は、開始 変わったの で減少など	40.7 台時期又 か?
所 未 ア 効率的な生 イ (2)事業責 予 当初予算	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273 額	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273	を の数 3) (おし業の) この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇し	表す指標) 「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「 「	万尾 弐意見等 どのような ? 水資源の維	46.5 事務事業を は5年前と 漁業者の高齢化	37.5 E取り巻く環 比べてどう や漁業資源	40.7 環境は、開始 変わったの で減少など	40.7 台時期又 か?
	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273 額 273	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273	を の数 3) (おし業の) この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇し	表す指標) 「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「 「	万尾 弐意見等 どのような ? 水資源の維	46.5 事務事業を は5年前と 漁業者の高齢化	37.5 E取り巻く環 比べてどう や漁業資源	40.7 環境は、開始 変わったの で減少など	40.7 台時期又 か?
対	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273 額 273	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273	で表 の数 3) 上谷上業の記 この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇し 中々増大を図るため この事務事業	表す指標) 近変化・住 は、いつ頃、 はされたのか でいく湾奥の シ平成18年かり	万尾 民意見等 どのような ? 水資源の維 ら実施。	事務事業では5年前と 漁業者の高齢化取り巻く環境は年	37.5 E取り巻く環 比べてどう や漁業資源	40.7 環境は、開始 変わったの できている。	40.7 台時期又 か? 水産業を
	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273 額 273	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273 持	を の数 3) (おし葉の): この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇しい。 中増大を図るため この事務事業 見や要望が寄	表す指標) 「「「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」 「 「	万尾 弐意見等 どのような。? 水資源の維 つ実施。	46.5 事務事業を は5年前と 漁業者の高齢化 取り巻く環境は年 この事務事 意見	37.5 ・ 取り巻く環 ・ 比べてどう ・ や漁業資源 々厳しくなっ	40.7 環境は、開始 変わったの できている。	40.7 台時期又 か? 水産業を
	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273 額 273	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273 持	で表 の数 3) 上谷上業の記 この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇し 中々増大を図るため この事務事業	表す指標) 「「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「 「「 「	万尾 弐意見等 どのような。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事務事業では5年前と 漁業者の高齢化取り巻く環境は年	37.5 ・ 取り巻く環 ・ 比べてどう ・ や漁業資源 々厳しくなっ	40.7 環境は、開始 変わったの できている。	40.7 台時期又 か? 水産業を
	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273 額 273	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273 持	を の数 3) (おし葉の): この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇しい。 中々資源が枯渇しい。 この事務事業 見や要望が寄れ産資源の枯渇を	表す指標) 「「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「 「「 「	万尾 弐意見等 どのような。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	46.5 事務事業を は5年前と 漁業者の高齢化 取り巻く環境は年 この事務事 意見	37.5 ・ 取り巻く環 ・ 比べてどう ・ や漁業資源 々厳しくなっ	40.7 環境は、開始 変わったの できている。	40.7 台時期又 か? 水産業を
対	結び付けるのか) 産を行う基盤が整う 21年度 (決算) 額 273 額 273 金 273	放流した稚魚 単位:千円 22年度 (予算) 273 持	を の数 3) (おし葉の): この事務事業 きっかけで開始 年々資源が枯渇しい。 中々資源が枯渇しい。 この事務事業 見や要望が寄れ産資源の枯渇を	表す指標) 「「「「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「 「「 「	万尾 弐意見等 どのような。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	46.5 事務事業を は5年前と 漁業者の高齢化 取り巻く環境は年 この事務事 意見	37.5 ・ 取り巻く環 ・ 比べてどう ・ や漁業資源 々厳しくなっ	40.7 環境は、開始 変わったの できている。	40.7 台時期又 か? 水産業を

 事務事業 コード
 742614
 事務 事業名
 漁業資源放流支援事業(種苗放流事業)
 担当部 農林水産部 担当課 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

			4	体名	3・協	議会	名				平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定		平成23年 (予定)	
	錦	5丁油当	業協同網	组合							補助金	273	補助金	273	補助金	273
1	3211	J/ ///>									自主財源	391	自主財源	391	自主財源	391
.		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	664	合計	664	合計	664
		地区							0		自主財源率	59%	自主財源率	59%	自主財源率	59%
											補助金		補助金		補助金	
2	Г			ı	ı					ı	自主財源		自主財源		自主財源	
_		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
3	Г				1	1	ı				自主財源		自主財源		自主財源	
		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
4				T	T		T			T	自主財源		自主財源		自主財源	
		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区					自主財源率		自主財源率		自主財源率						
											補助金		補助金		補助金	
5				T	T		T			T	自主財源		自主財源		自主財源	
Ĭ		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
6				T	T		T			T	自主財源		自主財源		自主財源	
		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
7				1						1	自主財源		自主財源		自主財源	
		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
8	Г										自主財源		自主財源		自主財源	
		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
9	Г										自主財源		自主財源		自主財源	
		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
10	Г			- ·	\u00e44	146	41 -	and, she	41.	ı → ·	自主財源		自主財源		自主財源	
		対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
		地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				計	-						補助金負担金合計	273	補助金負担金合計	273	補助金負担金合計	273
											自主財源合計	391	自主財源合計	391	自主財源合計	391
											自主財源率	59%	自主財源率	59%	自主財源率	59%

負担金の状況

単位:千円

	ロニエックル								<u>地,十日</u>
	団体名:協議会名				平成23年度		負担金(の支払先	
	四个石。网络云石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	273
補正予算	
合 計	273

	<補正予	算内訳 >					単	位:千円
I	第1回		第4回		第7回	回		
I	第2回		第5回		第8回	1		
I	第3回		第6回					

	务事業 ード	742614	│	漁業資源	放流支援	事業(利	重苗放流事	業)	担 当 部 農林水産部 担 当 課 林務水産課
2 🛱	平価の	部 <see></see>				評価			評価理由
А	政 :	策体系との整 の事務事業の 本シートの結	目的は基本事	714 101	■ 結びつ				放流を行うことによって漁業者の経営安定が図られ、糸 系に結びつく。
目的妥当	•な	共関与の妥 ぜ市が補助又 か?		ければならない	■ 妥当で □ 見直す		ある	種苗の放ため妥当	放流事業により漁業者の経営安定を図ることができる である。
性評価		象・意図の妥 象や意図を限		すべきか?	■ 適切で □ 対象を		必要がある	対象は消る。	漁協、意図は漁業者の経営安定であるため妥当であ
			IL.		□ 意図を	見直す	必要がある		
В	•成	果の向上余地 は果指標の現状 させることができ	は値をあるべき	水準まで向	■ 向上第 (十分	に成果な	が出ている)	事業目的	的以上の成果向上余地はない。
有効性	• 補	止・休止の成 i助金又は負担 :場合にどのよ	!金の交付を原	発止又は休止	■ 影響がある □ 影響がない			放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が 、また漁獲高が減少する。	
評価	•他	似事業との紛 に同様の補助 E廃合や連携す	金又は負担金	金はないか?		段があ	る :い □ 連携		(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効	・交 こと	業費の削減 統 付先に働きか ができないか	けて、市の負 ?		■削減分□削減分	≷地がな	l I		のほとんどは必要経費であり、削減は難しい。
率性評価	۶.	件費(延べ業 かり方を工夫して 削減できないか	で事務事業に		■ 削減分			人件費はがない。	予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地
D公平性評価	・補 てV	益機会・費用 助金又は負担 いて不公平では 益者負担が公	 □金が一部のう はないか?	受益者に偏っ	■ 公平・			種苗を鍛業者である	綿江湾の漁場に放流することによる受益者は全ての漁 るため適正である。
総		次評価者(課 目的妥当性	長)としての ■ 適切	評価結果 □ 見直す必	必要がある	(2)全	体総括(振	り返り、反	省点)
括	СŞ	有効性 効率性 公平性	■ 適切■ 適切■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必□ 見直す必	が要がある	適切	な事業であり)、現状維持	寺とする。
_		方向性 <pl <="" th=""><th></th><th></th><th>-</th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl>			-				
(1)		果にもとづく			- I - I - A	L m 3	(2)廃止又	は休止す	rべきとした場合の理由
	□ 事i □ 有i □ 加i □ 加i □ 公i		[目的妥 [目 [有 [向上] [有 卜削減] [效 [公	」率性⑦⑧の紀 :平性⑨の結果	効性⑥の約 の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -				
(3),	具体的	な改善計画		(1)のチェック	項目に対し	、具体	的にどのよう	に取り組む	ን ወ か
		年度の取組							き具体的な内容

評価	対象年度	平成 21年度	事	ろうりゅう りゅうしゅう りゅうしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	と 評価	表	<補助金	: 負担金用 >	•		様式2
	務事業	742616 事	務 錦江		年部活動支	援事業				農林水産	
	コード 政策名	争争	産業のまた						旦 当 課グループ	林務水産	
	^{以灾石} 施策名		産業のまた k産業の振	-					<u> ルーラ</u> 電 話 番 号		
	本事業名		と	74					内線番号	2371	
	会計						□ 単年/	<u></u> 隻のみ	3 ,,,5, 111 3		
7	事	6 農林水産	 産業費			事業 期間	■ 単年/	度繰返 (開始年	度 H 4	年度~)
拿彩	項	3 水産業費	ŧ			扒山	□ 期間	限定複数年度(~)
Ė		2 水産業扱	長興費			拠法令・	なし				
	コード 補助金	742616			7.	条例等					
	担金別	□ 団体の運営	営支援	■ 団体の	活動支援		イベント等の	○補助 □ □	協議会等負	担金	
1.瑪	状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do >							
		務事業の概要)									
錦江助する	Ľ漁協の青壮 ス	上年部(平成18年再	結成)が主と	なる,人工イ	力産卵床の記	没置, 鮮魚	青空市の開作	崔, 漁業の研修会	、海岸の清掃	等の活動の	一部を補
補具	办金·負担会	金の交付先 錦江	漁業協同組	 合青壮年部		補具	加金の対象総	全費 錦江漁業協	·同組合青壮年	三部の活動に	要する経費
Ì	舌動指標 (事務事業の活動量)				単位	20年度		22年度	23年度
ア	f空鮮魚市 <i>0</i>	関係回粉					旦	(実績)	(実績) 2 11	(見込)	(見込)
	明空 (本)						田田田		3 4	4	4
	/ 修去の州作						世		3 4	4	1
ゥ			II.								
Ż		能、何を け象にしているのか)	対象	指標 (③	対象の大きる 表す指		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア銀	帛江漁協の青	青壮年 部	漁協青壮华	手部員数			人		9 9	9	9
1											
į		対象を どうしたいのか)	成果	指標 (⑤)	意図の 達成度を表 [・]	七 指揮)	単位	20年度	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度
ア	手壮年部の 活	<u>こりじに、・シルケー</u> 手動が活性化する	青壮年部の			7 1日1示/	田	(1 1111)	2 11	12	12
1											
ゥ											
Ŕ	吉 果 (と	ごんな結果に 結び付けるのか)	上位	成果指標	(⑦結果の を表す)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
アダ	効率的な生産	ごを行う基盤が整う	放流した科	 #魚の数			万尾	46.5		40.7	40.7
,											
1 (2)	非 費	<u> </u>	当点・エロ!	/2八百三次日	半小理接	が/レ. <i>計</i>	日辛日华				
(2)					業の環境			市及市业	± ₩ /™		
		21年度 (決算)	22年度 (予算)		務事業は、し ナで開始され				を取り巻〈環 と比べてどう		
予	当初予算額	5 1	51		独自の活動を く湾奥の水産			漁業者の高齢 ^を 取り巻く環境は年			水産業を
算	補正予算額	Į –			成4年度から			TO LE VORDEION	747.0 (0. 2	(C (, D)	
額	予算合計	51	51								
Η,	코传생마 <i>스</i>										
	国庫補助金	Ž			務事業に対 望が寄せら		Nらどんな意 Sかっ	この事務! 意見	事業に対す	る議会から	出された
_	県支出金				が活発になり			特になし。			
算 ろいろな事業を行うよう					業を行うように	こなってき	たので、この	131-50			
額 その他 事業を続けてほしい(錦 年部)。						和台育壮					
一般財源 51 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
支出合計 51											

 事務事業
コード
 742616
 事務
事業名
 非江漁協青壮年部活動支援事業
 担当部
 農林水産部

 担当課
 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

		寸	体名	3・協	議会	名				平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定)		平成23年 (予定)	
	錦江漁	坐协 🖂	タ 小 小 主	壮 生並	,					補助金	51	補助金	51	補助金	51
1	쾟/⊥/忠:	未协门	祖口月	11++=1)					自主財源	884	自主財源	547	自主財源	547
'	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	935	合計	598	合計	598
	地区							0		自主財源率	95%	自主財源率	91%	自主財源率	91%
										補助金		補助金		補助金	
2										自主財源		自主財源		自主財源	
_	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
3										自主財源		自主財源		自主財源	
٦	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
4										自主財源		自主財源		自主財源	
7	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
5										自主財源		自主財源		自主財源	
٦	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
6										自主財源		自主財源		自主財源	
0	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
7										自主財源		自主財源		自主財源	
<i>'</i>	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
8										自主財源		自主財源		自主財源	
٥	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
9										自主財源		自主財源		自主財源	
9	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
										補助金		補助金		補助金	
10										自主財源		自主財源		自主財源	
10	対象	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
			計							補助金負担金合計	51	補助金負担金合計	51	補助金負担金合計	51
										自主財源合計	884	自主財源合計	547	自主財源合計	547
										自主財源率	95%	自主財源率	91%	自主財源率	91%

負担金の状況

単位:千円

	団 体 名 協議 会 名				平成23年度		負担金0	D支払先	
	四 体石 一肠 俄 云 石		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計					_		

当初予算	51
補正予算	
合 計	51

<補正予算	算内訳 >					単	位:千円
第1回		第4		第7	回		
第2回		第5	回	第8	回		
第3回		第6					

_	事務事業 742616 事務 錦江漁 コード 742616 事業名 錦江漁			錦江漁協	協青壮年部活動支援事業			<u>担</u> 担		林水産部 務水産課	
2	評価の	部 <see></see>	3.00			評価			評価理由	373 13 122 #11	
А	政	策体系との の事務事業の 本シートの結	目的は基本事		■ 結びつ □ 見直す	Dいている 「必要がある				活動が活発になり, 効率 くため, 結びついてい	
目的妥当	• t _i	共関与の妥 せ市が補助又 か?		ればならない	■ 妥当で □ 見直す	: である で必要がある	漁業者	の経営安定支援	を行うことは妥	き当である。	
性評価		象・意図の妥 ナ象や意図を限		ナベきか?	■ 適切で □ 対象を	である 日直す必要があ	3 対象は ことである	漁協青壮年部、意 るため妥当である。	意図は青壮年	部の活動が活発化する	
					□ 意図を	見直す必要があ	3				
В	• 月	果の向上余り は果指標の現状 させることができ	:値をあるべき	水準まで向	(十分	<地はない に成果が出ている<地がある	年間の 向上余地		これ以上増々	やすことはできず成果の	
有効性が	· 有	止・休止の成 前助金又は負担 に場合にどのよ	金の交付を属	を 上又は休止	□ 影響か ■ 影響か		自主財い。	源率が高く事業に	高く事業に対する補助に移行すれば支障はな		
評価	• 他	似事業との知 1に同様の補助 1、廃合や連携す	」金又は負担金	をはないか?	■他に手	三段がない 三段がある 合できない □ 連	携できない	漁業資源放流支	で援事業(種語	の事務事業名等) 苗放流事業)	
							携できる	2017-100/00/-> 1	1 2 (1 0///)	70 - 70 - CC 200	
C 効	<u>-</u> ダ	業費の削減% で付先に働きかいかったができないか	けて、市の負担	担を削減する		⇒地がない ⇒地がある	補助し削減は難		要する必要網	圣費であり、これ以上の	
率性評価	٠.٩	件費(延べ業 ゆ方を工夫し ^っ 削減できないか	で事務事業に			⇒地がない	人件費ない。	は予算執行事務。	と放流の立会	のみであり、削減余地が	
D公平性評価	・補てい	益機会・費用 助金又は負担 いて不公平では 益者負担が公	量金が一部の受 はないか?	受益者に偏っ		公正である 「必要がある		補助を実施してい はいえない。	るのはこの団]体のみであって、公平	
総括	A B	次評価者(課 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	長)としての■ 適切■ 適切■ 適切□ 適切□ 適切	評価結果	必要がある 必要がある		合の部会等			公平であるとはいえな 」性を決定する必要があ	
3	今後の	方向性 < PL	AN>	_							
(1)	評価編	果にもとづく	今後の方向	性		(2)廃山	又は休止で	すべきとした場合	合の理由		
	■事		[目的妥 [目 [月 [有上] [有 上] [初 [公	率性⑦⑧の結 平性⑨の結果	対性⑤の編 の結果] ⁴] ⁴] ⁵ 果]						
(3)	具体的	な改善計画		(1)のチェック	7項目に対し	、具体的にどの。	うに取り組む	ひのか			
類		2年度の取組 事務事業との統				平成23年度に 平成22年度の検討		、き具体的な内 な き対応する。	容		

評値	<u>「対象年度</u>	平成 21年度	事者	ろう ひょうりゅう りゅうしゅう りゅうしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	価 表	<補助金	· 負担金用 >			様式2
1	事務事業		務 天陰	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業		<u>}</u>		農林水産	
	コード 政策名	争	業名 る産業のまち						林務水産	
	施策名		の産業のまり 水産業の振					/ ル - ノ ፪話 番 号		
基	本事業名		盤の整備					り線番号		•
	会計	一般会計				□単年原	-	<u> </u>		
	予款	6 農林水	産業		事業 期間	■ 単年原	度繰返 (開始年	度 H 10	年度~)
	算項	3 水産業	費		丹川町	□ 期間図	限定複数年度(~)
	目目	2 水産業	振興費		根拠法令·	なし				
	コード	742618			条例等	,,,0				
	補助金 負担金別	■ 団体の運	営支援	□ 団体の活動支	援 □	イベント等の)補助 □ ‡	協議会等負	担金	
	現状把握	(1)事務事業の	目的と指標	< Do >						
		務事業の概要)								
努め	> చే.	金の交付先		に放流する事業や天		力金の対象経		· ・ 及び活動に		(貝体土に)
		事務事業の活動量		,— —		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
ア	放流回数					耳	(実績)	(実績) 2 2	(見込)	(見込)
,	双侧凹裂					Щ	4	2 4	2	2
1	放流した鮎の	量				kg	150	150	150	150
ゥ	-									
	対象は	惟、何を	対象	(3)対象の	大きさを	出位	20年度	21年度	22年度	23年度
		†象にしているのか)) XJ家t	表	きす指標)	単位	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	天降川水系		天降川(金	山・万膳川・石坂川・	中津川)			1	1	1
1										
	意図(対	対象を	- 一 	(⑤意図の		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
	意 図 ^^	どうしたいのか)	成果	達成度	を表す指標)	平111	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	鮎が維持増殖	直される	維持増殖さ	された鮎の量		kg	150	150	150	150
1										
_										
ウ	(1	8) A (+ H)=			田の法本広		20年度	04年度	20年度	00年度
	結果 (と	ごんな結果に 結び付けるのか)	上位		果の達成度 表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア		ごを行う基盤が整う	放流した稚	生魚の数		万尾	46.5		40.7	40.7
,										
1			₩ 4 T T T			口车日休				
(2)	事業費			(3)事務事業の理						
		(決算)	22年度 (予算)	この事務事業1 きっかけで開始				を取り巻〈環 :比べてどう		
予	当初予算額	A 427	385	平成10年に九州電			5年前と比べる。		減しており、	鮎漁の存
算	補正予算額	Į į		り、鮎の遡上が少な [。] る。	くなつたことか	さつかけであ	続も難しい状況で	<i>``</i> ある。		
額	予算合計	427	385							
	国庫補助金	ž		この事務事業I	こ対して誰も	\らどんか音	この重殺す	事業に対する	ス議会から	出された
	県支出金	-		見や要望が寄			意見	ア来に刈り	◇哦女ハ, り	шс16/с
決	地方債			天降川水系の維持			特になし。			
算額	その他			けてほしい。(天降川	漁業協同組	合)				
谼	一般財源	427								
	支出合計	427								

 事務事業
コード
 742618
 事務
事業名
 天降川漁協運営支援事業
 担当部
担当課
・ 林務水産課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位:千円

			団 体	2 名	・協	議会	名		ź	会員数	平成21年 (決算)	度	平成22年 (予定		平成23年 (予定)	
	工修	l 漁業t	カ目が	10						28 人	補助金	427	補助金	385	補助金	385
1	<u> </u>	川川黒	加门船	10						20 八	自主財源	1,569	自主財源	1,543	自主財源	1,543
'	対	象全市	5 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	1,996	合計	1,928	合計	1,928
	地	区					0				自主財源率	79%	自主財源率	80%	自主財源率	80%
											補助金		補助金		補助金	
2											自主財源		自主財源		自主財源	
_	対		可 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
3											自主財源		自主財源		自主財源	
٦	対	-	5 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
4											自主財源		自主財源		自主財源	
4	対		5 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
5											自主財源		自主財源		自主財源	
٦	対	象全市	5 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
6											自主財源		自主財源		自主財源	
١	対	象全市	国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
7											自主財源		自主財源		自主財源	
'	対		5 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
8											自主財源		自主財源		自主財源	
٥	対		1 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
											補助金		補助金		補助金	
9											自主財源		自主財源		自主財源	
٦	対	象 全市	可 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	区									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
		-									補助金		補助金		補助金	
10						ı	ı			1	自主財源		自主財源		自主財源	
	対	-	1 国	分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
	地	×									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
				計						28 人	補助金負担金合計	427	補助金負担金合計	385	補助金負担金合計	385
							自主財源合計	1,569	自主財源合計	1,543	自主財源合計	1,543				
								自主財源率	79%	自主財源率	80%	自主財源率	80%			

負担金の状況

単位:千円

	ロニエッグルル							平	14. 十口
	団 体名:協議会名				平成23年度		負担金0	D支払先	
	四个一场成去一		(決算)	(計画)	(予定)	全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

当初予算	427
補正予算	
合 計	427

	<補正予	算内訳 >					単	位:千円
I	第1回		第4回		第7回	回		
I	第2回		第5回		第8回	1		
I	第3回		第6回					

	务事業]ード	742618	事務事業名	天降川漁	協運営支	援事業		担 当 農林水産部				
2	平価の	部 <see></see>				評価		評価理由				
А	政	(策体系との この事務事業の			■ 結びつ □ 見直す			放流を行うことによって天降川水系の資源の維持増殖 いるので、政策体系に結びつく。				
目的妥当	• 7.	共関与の妥 なぜ市が補助〕 か?	当性 又は負担しなけ	ればならない	■ 妥当で□ 見直す	である 「必要がある		放流事業により市民が利用する天降川水系の資源の が図られるため妥当である。				
性評価		は象・意図の3 対象や意図を「	妥当性 限定又は追加す	ナベきか?		である :見直す必要がある :見直す必要がある	対象はきため妥当	天降川、意図は天降川水系の資源の維持増殖である である。				
В	• 万	、果の向上余 成果指標の現っ させることがて	状値をあるべき	水準まで向	(十分	★地はない に成果が出ている)	事業目的	的以上に成果を向上させることはできない。				
有効性評	・神 し7	甫助金又は負達 た場合にどの。	成果への影響 担金の交付を廃 ような影響がある	隆止又は休止 るか?	■ 影響が			流を中止することにより、鮎の遡上が少なくなり資源の が難しくなり,また漁獲高が減少する。				
価	• ft	也に同様の補具	統廃合・連携(助金又は負担金 することができた	をはないか?	□他に手	「段がない 「段がある 合できない □ 連携	できない	(他に手段がある場合の事務事業名等)				
C	• <i>3</i>	「業費の削減 交付先に働きないか とができないか	かけて、市の負担	担を削減する	■ 削減分	<u>合できる □ 連携</u> ⇒地がない ⇒地がある		 のほとんどは放流鮎購入費の経費であり、削減は難し				
効率性評価	٠.۶		義務時間)の削 て事務事業に係 か?		■ 削減分	⇒地がない	人件費にい。	は予算執行事務と放流の立会のみで、削減余地がな				
D公平性評価	• 神 て	甫助金又は負: いて不公平で	用負担の適正 担金が一部の受 はないか? 公平公正になっ	受益者に偏っ		公正である ⁻ 必要がある		漁協への補助事業は本事業のみで、他の漁協とのバ 文れていない。				
総括	A B	次評価者(記 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	果長)としての ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切 ■ 適切	評価結果	ショグある ショグある		補助は本事]漁業権(漁	省点) 事業だけであるが,稚鮎採捕を行っていない漁協であ 魚業法)に基づく増殖目標数量を達成するには補助せ				
3 4	今後の	方向性 <pl< th=""><th>_AN ></th><th>_</th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>	_AN >	_								
	□□□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	止 此 的再設定 業統合·連携 効性改善(成 率性改善(コ 平性改善 状維持·継続	[目的妥 [目 [有 果向上) [有 スト削減) [効 [公 ⇒(3)具体的	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果 りな改善計画に	効性⑤の約 の結果] :] :] :果] :果] : : : : : : : : : : : :	古果]		けべきとした場合の理由				
事	平成2		国み概要及び 計放流事業補助	期待される効]果	、具体的にどのよう 平成23年度に取 ^Z 成22年度の検討結	収り組むべ	き具体的な内容				

BI IMV18	8V T 1X	. 174	# Z 1 T-132		177		7	<u>ІЩ 1Х</u>		烂 坪		用「女女人」口は	<u>ж/п.</u>					1水工(4
事務事	事業	742		務 林道事業(活性化プロジェクト交付金事業)								担	当	部	農林	水產部	3	
コー	۲	142	^{2/4} 事業名		州坦争 業(活性化プログェクト交別 金争業)								担	当	誄	林務	3水産課	Į
政策	名	3	活力ある	産業のま	ちづく!)							グ	ル	ーフ	林務	ダルー	プ
施策	名	1	農·林·水	産業の振	興								電	話	番号	45-5	5111	
基本事	業名	2	生産基盤	め整備									内	線	番号	2361	1	
予算	会計	—ў	般会計															
科目	款	6	農林水産業	費	項	2	林業費	•		目	3	林道事業費			コ	ード	742	274
1.現状	把握	(1)	事務事業の	目的 .	< Do >											邕	並位:∃	- 円

政策名 3 活力ある産業のまちづくり	グ ル - プ 林務グループ
施策名 1 農・林・水産業の振興	電話番号45-5111
基本事業名 2 生産基盤の整備	内線番号2361
予算 会計 一般会計 科目 款 6 農林水産業費 」項 2 林業費	
3X = 12X13	目 3 林道事業費 コード 742274
. 現状把握 (1)事務事業の目的 < Do >	単位:千円
対象 (誰、何を対象にしているのか) 意図 (対象をどうしたいのな	(どんな結果に結びつけるのか) 結果
ボ道の未舗装路線 林道を舗装することによって間伐森林 効率が高まる。	*整備の作業 効率的な生産を行うための基盤が整う。
平成21年度	平成22年度 完了 備考
5	計画 予定 ^{湘 传} 勝装工事 L=800m W=4.0m
	援託) H 22 13,450
	接工事 L=200m W=3.0m
2 林道 立元線	委託) H22
福山 編装工事L=438m W=4.0m	2,900
新規 舗装工事L=438m W=4.0m (委託)	
福山 12,805	
,	
3	
	trite o
(地区別) 継続 = 0 新規 = 1 継続	
H 21 H 22 <全体事業費 > 平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B) 前年度比較(B)-(A)
国分 事 業 費 12,805	16,350 3,545
講辺 事務費 横川 合計 18線 13,148	650 307 2路線 17,000 1 路線 3,852
横川	2路線 17,000 1 路線 3,852
	平成22年度計画(B) 前年度比較(B)-(A)
### ***	8,500 2,011
福山 1 2 県 支 出 金	0
地方債	0
その他	0
i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	
一般財源 6,659	8,500 1,841
	8,500 1,841 17,000 3,852
一般財源 6,659 合計 13,148	
一般財源 6,659 合計 13,148 2)事務事業に対する住民意見等	

基本シート		

	6事業 ₇₄	2274 事 務	1ジェクトな付全事業)	担 3 部長外外性部				
⊐	- F 14	2274 事業名 「特定事業(冶圧化)に	リフェク「久り立事未)	担当課林務水産課				
2 評	価の部 <	SEE >	評価	評価理由				
A E	目的妥当性	政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	林道の整備を行うことにより、森林整備の作業 効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的 な生産を行うための基盤整備に結びつく。				
	評価	公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	林道の整備は市の役割である。				
В 1	有効性評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にど のような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	林道の維持管理費の増加及び森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。				
C *	₅h S o r MH ≐亚 /邢	事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を 図っており、削減の余地はない。				
CX	効率性評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。				
D 2	公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	市全域の全路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。				
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	()				
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある	林道整備については、森林整備を打等により森林整備の作業効率を高め7	推進する観点から、今後は開設、改良、舗装事業 たい。				
3 🕰	後の方向性	E <plan></plan>						
		もとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃	・・休止すべきとした場合の理由)				
] 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]						
]休止]有効性改善	[目的妥当性①②、有効性③の結果] [有効性③の結果]						

□ **効率性改善(コスト削減)** [効率性④⑤の結果]

■ 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要

[公平性⑥の結果]

□ 公平性改善

事務事		7422	事 務 事業名	林道整備	事業(県単)					担担	当当		農林水産 林務水産	
Т	'		于木口]]=	=	灬	小小刀小庄	. D/T
政策	名	3	活力ある産	業のまちづ	(1)						グ	ルー	プ	林務グル	ープ
施策	策名 1 農·林·水産業の振興								電	話 番	号	45-5111			
基本事	業名	2	生産基盤の)整備							内	線番	号	2361	
予算	会計	一角	股会計												
科目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費	_	目	3	林道事業費			コ-	-ド 74	12215

1.現状把握 (1)事務事業の目的 < Do >

単位:千円

対象	(誰、何を対象にしているのか)	意図	(対象をどうしたいのか)	結 果	(どんな結果に結びつけるのか)
林道の未改良	(路線・流末)・未舗装路線	林道を改良() 伐等森林整備	各線・流末)、舗装することによって間 の作業効率が高まる。	効率的な生産	ぎを行うための基盤が整う。

番号	路線名等		平成21年度	平成22年度			備考
号	C, H , 20114	区分	実績	区分	計画	完了 予定	in 5
1	林道 上井線				舗装工事 L=200m W=4.0m	H 23	
				国分	4,850		
2	林道 国分山麓線			新規	L=100m (排水路改良) (委託)	H 23	
				国分	5,820		
3	林道 城ヶ尾線		改良工事 L=50m W=4.0m	継続	改良工事 L=70m W=4.0m (委託)	H 22	
		溝辺	3,969	溝辺	7,768		
4	林道 小田西			新規	L=100m (排水路改良) (委託)	H 22	
				隼人	6,790		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	<地区別>	紅	<u>₭続 = 1 新規 = 0</u>	紭	上続 = 2 新規 = 2		

国分H 21 H 22国分2溝辺1

 溝辺
 1
 1

 横川
 牧園

 霧島
 4
 1

福山

<全体事業費>			平成21年度決算	Ĭ(A)	平成22年度	≣計画(B)	前年度比較	रे (B) -(A)
事	業	費		3,969		25,228		21,259
事	務	費		111		798		687
合		計	1路線	4,080	4路線	26,026	3 路線	21,946

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県 支 出 金	1,632	10,400	8,768
地 方 債			0
そ の 他			0
一般財源	2,448	15,626	13,178
合 計	4,080	26,026	21,946

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

この事務事業に対する議会から出された意見

山林所有者及び地域住民からの山地崩壊の危険性の苦情や路面水 の流末整備について強く要望されている。また、林道舗装についても早 期完成を望む要望が寄せられている。

事務調		9215 事 務 事業名	林道整備事業(県単)	担当部農林水産部担当課林務水産課
2 評価	画の部 < S			評価	評価理由
A 目f	的妥当性		の整合性 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	林道の整備を行なうことにより、森林整備の作業効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行なうための基盤整備に結びつく。
	評価	ないのか?	妥当性 なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	林道の整備は市の役割である。
B 有i	効性評価		D成果への影響 廃止又は休止した場合にと があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	林道流末未整備による山地災害の危険性、 林道の維持管理費の増加及び森林整備の停 滞、山間集落の衰退につながる。
c +1.		事業費の削・仕様や工法 削減できない	の適正化等により事業費を	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	必要な箇所のみの改良実施と仕様や工法決 定の段階で事業費の削減を図っており、削減 の余地はない。
(XI)	率性評価	•	ヾ業務時間)の削減余地 たして事務事業に係る業務 ぎきないか?	! ■ 削減余地がない □ 削減余地がある	通常の事務については職員で対応している が、設計積算や測量等の業務については委託 を行なっており、削減の余地はない。
D 公	平性評価		制用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	市全域の全路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。
	(1)1次評	価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	a)
緒括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■適切	□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある	林道整備については、森林整備を 等により森林整備の作業効率を高め	推進する観点から、今後は開設、改良、舗装事業 たい。
3 今後	後の方向性	<plan></plan>	— —		
		とづく今後の方	向性	(2) 具体的な改善計画 (又は腐	B止·休止すべきとした場合の理由)
		[目的妥当性(D②、有効性③の結果] D②、有効性③の結果] [有効性③の結果] [対率性④⑤の結果]		

[公平性⑥の結果]

□ 公平性改善

■ 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要

様式4

#1 11 TO 10			// 		979 7		/ 	 	<u> </u>	1 <u>1 </u>	<u> </u>		N/ 13	, ,					137-0
事務事業	Ě	742	事務	林道整	女借事:	撃 (/	7 # 1						担	=	¥	部層	農林2	水産部	
コード		142	事業名	祁炟立	E MH →	末 (2	4 7)						担	=	当	課	休務7	水産課	
政策名		3	活力ある産	産業のまち	づくり								グ	ル	_	プオ	沐務?	グルー	プ
施策名		1	農·林·水產	産業の振り	興								電	話	番	号 4	15-51	111	
基本事業	名	2	生産基盤の	の整備									内	線	番	号 2	2361		
	計	— ∮	股会計																
科目	款	6	農林水産業質	貴	項	2	林業費		目	3	林道	事業費				コー	۴	7422	16

1.現状把握 (1)事務事業の目的 < Do >

単位:千円

対象 (誰、何を対象にしているのか)	意 図 (対象をどうしたいのか)	結果 (どんな結果に結びつけるのか)
林道の未舗装路線	林道を舗装することによって間伐森林整備の作業 効率が高まる。	効率的な生産を行なうための基盤が整う。

番	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
番号	始級有守	区分	実績	区分	平成22年度 計画	完了 予定	佣气
1	林道 桑木鶴線	新規	(安計)	邢丕形亡	(安記)	H 22	
		溝辺		溝辺	19,440		
2	林道 川北・上別府線	継続	(安託)		舗装工事 L=360m W=4.0m	H22	
		横川	38,365	横川	14,000		
3						-	
4						-	
5						-	
6						-	
7						-	
8						-	
9						-	
10						-	
	<地区別>	糺	<u>≭続 = 1 新規 = 1</u>	紭	上続 = 2 新規 = 0]	

 <地区別>
 継続 = 1

 H 21 H 22
 <全体事業費 >

<全体事業費> 平成21年度決算(A) 平成22年度計画(B) 前年度比較(B)-(A) 事 費 43,058 33,440 **▲** 9,618 事 **▲** 417 務 費 1,762 1,345 合 **▲** 10,035 計 2路線 44,820 2路線 34,785

国分		
溝辺	1	1
横川	1	1
牧園		
霧島		
隼人		
福山		

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県 支 出 金	19,494	15,766	▲ 3,728
地 方 債			0
そ の 他			0
一般財源	25,326	19,019	▲ 6,307
合 計	44,820	34,785	▲ 10,035

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

この事務事業に対する議会から出された意見

地域住民が管理する山林が林道沿線にあり、里山として親しまれているため、地域住民の安全な通行のためにも同路線の舗装の要望が強い (林道 桑木鶴線)。

	事業 ード 742	916 事 務 事業名	林道整備事業(公共)		担当部 農林水産部担当課
2 評	平価の部 < S	SEE >		評価	評価理由
A	目的妥当性		刀整合性 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	林道の整備を行なうことにより、森林整備の作業効率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行なうための基盤整備に結びつく。
	評価	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?		■ 妥当である □ 見直す必要がある	林道の整備は市の役割である。
В 1	有効性評価)成果への影響 廃止又は休止した場合にど ぶあるか?	■ 影響がある □ 影響がない	林道の維持管理費の増加及び森林整備の停滞、山間集落の衰退につながる。
C #	効率性評価	削減できない	の適正化等により事業費をか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	
	切华注計1 画	・やり方を工夫時間を削減で		■ 削減余地がない □ 削減余地がある	通常の事務については職員で対応しているが、設計積算や測量等の業務については委託を行なっており、削減の余地はない。
D 2	公平性評価		【用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って はないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	市全域の全路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。
	(1)1次評(価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省の	点)
緒括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■適切	□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある	林道整備については、森林整備を 等により森林整備の作業効率を高め	推進する観点から、今後は開設、改良、舗装事業 たい。
	後の方向性	<plan> Sとづ〈今後の方</plan>	向性	(2)目体的か改善計画 (▽)↓ □	発止・休止すべきとした場合の理由)
	計画編末にで		円11年 ②、有効性③の結果]	(4)会件的な以言可聞 (XIA)	#Ⅲ·№Ⅲ3、19.00に物口の注四)
_	〕 焼止 〕 休止		D②、有効性③の結果]		
]有効性改善]効率性改善(コスト削減)	[有効性③の結果] [効率性④⑤の結果]		
] 公平性改善		[公平性⑥の結果]		

■ 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要

事務事		7422	事	務	林道整	は借事	恭					担	当	部	農林』	K産部	
	۲	1422	事 事	業名	怀炟垚	田子	*					担	当	課	林務才	K産課	
政策	政策名 3 活力ある産業のまちづくり							グ	ルー	プ	林務な	ブループ	,				
施策	施策名 1 農·林·水産業の振興						電	話 番	号	45-51	11						
基本事	業名	2	生産基	基盤の塾	整備							内	線番	号	2362		
予算	会計	一角	役会計														
科目	款	6	農林水產	全業費		項	2	林業費	目	3	林道事業費			コ-	- F	74221	2

1.現状把握 (1)事務事業の目的 < Do >

単位:千円

対象	(誰、何を対象にしているのか)	意図	(対象をどうしたいのか)	結 果	(どんな結果に結びつけるのか)
林道開設路線 林道未改良(舗	装改良)路線	林道開設や林流林整備の作	道改良、舗装を行うことにより間伐等 業効率が高まる。	効率的な生	産を行う基盤が整う。

番号	路線名等		平成21年度		平成22年度	完了	備考
号	ロ 秋 口 守	区分	実績	区分	計画	予定	用っち
1	荒平線	継続	用地•椭顶•安託	継続	用地•柵頂	H 24	ふるさと林道緊急整 備事業
		牧園	27,492	牧園	21,278		VIII T T
2	伊勢坂線	新規	測量設計業務委託 L=1,000m 用地·補償	継続	道路改良 L=100m w=3.0m 用地·補償·委託	H 24	辺地対策事業
		溝辺	9,214	溝辺	26,691		
3	国分山麓線	継続	用地測量業務委託	継続	用地測量業務委託 用地·補償·委託	H 24	広域基幹林道整備事 業
		国分	570	国分	3,244		木
4	_						
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	, 보니다 마니 >	幺		ᆀ	¥結 = 3 新担 = ∩		

新規 = 1 継続 = 3 新規 = 0 継続 = <地区別> H 21 H 22

	H 21	H 22
国分	1	1
溝辺	1	1
横川		
牧園	1	1
霧島		
隼人		
福山		

<全	体事業	費 >	平成21年度活	央算(A)	平成22年度	計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
事	業	費		37,276		51,213		13,937	
事	務	費						0	
合		計	3路線	37,276	3路線	51,213	0	13,937	

<財源内訳>	平成21年度決算(A)	平成22年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金			0		
県 支 出 金			0		
地 方 債	33,800	45,700	11,900		
そ の 他			0		
一般財源	3,476	5,513	2,037		
合 計	37,276	51,213	13,937		

(2)事務事業に対する住民意見等

誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

この事務事業に対する議会から出された意見

地元自治会や森林所有者より、山村地域の振興や定住環境の改善の 特になし。 ために早期完成が望まれている。

	語事業 ード 742	2212 事 務 事業名	林道整備事業		担当部 農林水産部 担当課 林務水産課
2 評	7価の部 <			評価	評価理由
AE	目的妥当性		の整合性 目的は基本事業の意図(基 果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	林道整備を行うことにより、森林整備の作業 郊率を高め、林業生産機能の向上及び効率的な生産を行うための基盤整備に結びつく。
	評価	ないのか?)妥当性 なぜ市が行わなければなら して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	林道整備は市の役割である。
B ₫	与 効性評価		の成果への影響 廃止又は休止した場合にと があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	林道の維持管理費の増加及び森林整備の停 滞、山間集落の衰退につながる。
c *	+ 	事業費の削・仕様や工法 削減できない	の適正化等により事業費を	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	仕様や工法決定の段階で事業費の削減を 図っており、削減の余地はない。
C 効	加率性評価	<u> </u>	ベ業務時間)の削減余 り 失して事務事業に係る業務 ごきないか?	■ 当時会地がたけ	通常の事務については職員で対応している が、設計積算や測量等の業務については委託 を行っており、削減の余地はない。
D 2	公平性評価		費用負担の適正化余地 が一部の受益者に偏って ではないか?	■ 公平·公正である □ 見直す必要がある	市全域の膳路線を対象に検討を行い、必要な箇所から実施しているため、公平・公正である。
	(1)1次評	価者(課長)とし	ての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	(ā)
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある□ 見直す必要がある	林道整備については、森林整備を 等により森林整備の作業効果を高め	促進する観点から、今後は開設・改良・舗装事業 たい。
3 今	後の方向性	< PLAN >			
-		もとづく今後のプ	5向性	(2) 具体的な改善計画 (又は序	隆止·休止すべきとした場合の理由)
	廃止 休止 有効性改善 効率性改善	[目的妥当性	①②、有効性③の結果] ①②、有効性③の結果] [有効性③の結果] [効率性④⑤の結果]		

[公平性⑥の結果]

□ 公平性改善

■ 現状維持・継続 ⇒(2)具体的な改善計画は不要

評価対象	年度	平成 2	1年度		事務	事	業	評	価 表	<一般用>	•					様式1
事務事業		7422	210	事 務事業名	林道領	 手維持	管理事	事業				担	当		農林水産部	
コード												担	当	誄	林務水産課	
政策名		3	活力ある産業のまちづくり									グ	ル・	ー ブ	林務グループ	プ
施策名		1	農•ホ	木・水産美	業の振興	!						電	話者	番 号	45-5111	
基本事	業名	2	生産	基盤の彗	整備									番 号	2362	
	会計	一彤	般会計					= **	□ 単年度の	のみ						
予 算 科	款	6	農林水産業費					事業 期間	■ 単年度網	繰返(開始的	丰度	Ę	S	23 年度~)		
早 科	項	2	林業費						光川山	□ 期間限	定複数年度	(~)	
目	目	3	林道	事業費					根拠法令·	林道管理条例						
	コード	742	210						条例等	怀坦官						
関連計	画															
1.現状把																
手段	亚成21年度宝结															
市が管理	してい	る林道・	作業道•	作業路0)維持補何	多工事、	、除草、	保守	点検など、林	道機能の維持	林道等の	り修	繕筃	听数	24箇所	

や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。 森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認し、維持管理上、危険と判断した箇所について補修工事や除草を実施。

林道藪払い委託 140,168m 保守点検を行った路線数 93路線

平成22年度計画

林道等の修繕 林道藪払い委託 林道保守点検

主 な活

	活動指標 (事務事業の活動量)		単位		∓度	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	林道等の修繕箇所数		箇所		37	24	30	30
1	林道藪払い委託延長		m	74	4,480	140,168	60,000	70,000
ウ	林道保守点検		路線		93	93	93	93
	対 象 (誰、何を 対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)	単位		∓度 [績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	霧島市が管理する林道等	市が管理する林道の路線数	路線		93	93	93	93
1	II .	市が管理する林道延長	m	18'	7,045	187,896	187,896	187,900
ゥ								
	意 図 (対象を どうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位		∓度	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	適切に管理される	林道利用に関する苦情	件		14	15	10	10
1								
ゥ								
	結果 (どんな結果に 結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位		丰度 [績]	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	効率的な林業生産基盤が整う	林業生産基盤(林道)の整備率	m/ha		5.7	5.7	5.9	6.0
1								

(2)事業費 21年度 22年度 (決算) (予算) 当初予算額 14,361 15,900 算 補正予算 42,440 額 予算合計 58,340 14,361

	国庫補助金	0
	県支出金	28,825
決算	地方債	0
額	その他	0
	一般財源	17,045
	支出合計	45,870

単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

きっかけで開始されたのか? 林道は森林管理を図る上で重要な社会基盤 であり、市(及び県)が昭和23年頃から整備を 進め、その維持管理を行う事業として本事業が がは、生活路線へ変化してきている。 開始された。

この事務事業は、いつ頃、どのような

林道の舗装がされるようになり、施業に利用する人 だけでなく、集落間の移動に利用する人が増えたた

は5年前と比べてどう変わったのか?

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又

この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

生活路線としての意味合いが出てきたため、 一般利用者から交通安全対策等の強化の要 望が増えてきている。

この事務事業に対する議会から出された 意見

特になし。

事利	多事業 ード	742210	事務事業名	林道等維持管	担 当 部 農林水産部 担 当 課 林務水産課								
	T'		平成21年度(決算) 平成22年度(当初予算)							平成23年度 (見込)			
		単位∶千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計		
1	報		1 32	113-73		1 3-4	1113-23	1	1 32	113-73			
2	給	料											
3		負手 当等											
4	共	済 費											
7	賃	金											
8	報	償 費											
9	旅	費											
10	<u>交</u> 需	際 費 用 費	5,059)	5,059	5,900	10,000	15,900					
' '	消		5,058	9	5,059	5,900	10,000	15,900					
	燃	料費	100)	100	100		100					
	食	料費	100		100	100		100					
		刷製本費											
	光	熱水費											
	修	繕 料	4,959)	4,959	5,800	10,000	15,800					
12	役	務 費											
		信運搬費											
	広手	<u></u> 告 料 数 料											
	保	<u>数料</u> 険料											
13	委	託 料	6,408	3 28,825	35,233	5,461		5,461					
14		<u> </u>	1,996		1,996	2,000		2,000					
15	工事	請 負 費	2,300		2,300		2,000	2,000					
16	原	材 料 費	1,282	2	1,282	1,000		1,000					
17		財産購入費											
18		購入費											
19	負担金 扶	補助·交付金 助 費											
20	<u>坏</u> 貸	<u>助</u> 費											
22		填及び賠償金											
23		利子·割引料											
24	投資	及び出資金											
25	積	立 金											
26	寄	附 金											
27	公	課費											
28	繰	出 金計	17,045	5 28,825	45,870	14,361	12,000	26,361					
			11,046	20,020	10,010	11,001	12,000	20,001					
		<u>=</u> 県		28,825	28,825		10,800	10,800					
	地	方 債											
財	辺	地 債											
源	過												
内訳	合	併特例債											
n/\	7	⊅ /ii.											
	そ - 1	の 他 般 財 源	17,045	=	17.045	14,361	1,200	15 EC1					
		<u>報 的 源</u> 計	17,048		17,045 45,870	14,361	12,000	15,561 26,361					
	***	国	2.,010		20,010	_ 1,501	90	20,001					
L	補助率	県		100									
補	助	基本額											
平		初 予 算			15,900 千円		平成 21 年	度 財源内	訳の「その他	りの内訳			
成		正 予 算			12,440 千円								
21	第1		26,11		(o. E.)		41	_ =		±V.=C			
	第 2		0.00		(3月)	9,730	参加費等(の事業実施	のための収 <i>)</i>	\說明			
年度	第3		6,60	9 第7回 第8回									
		<u>四</u> 算 合 計			58,340 千円								
	1, 4	+		·	00,010 □								

	務事業]ード	742210	事 務事業名	林道等維	持管理事	担 当 部 農林水産部						
2 1	準備の≦	那 <see></see>				評価				平価理由	323-3 - (ALL HAIT	
		体系との記				н і інч		林道及7			除草、保守点検を行うこ	
A	(基	本シートの結	目的は基本事 果)に結びつ<		■ 結びつ □ 見直す		_	とで、林道の機能維持や安全確保が図られ、それにより森林整備の推進が図られるため結びついている。				
目的妥当性	・このか	??	当性 市が行わなけ 、達成する目		_ ■ 妥当である □ 見直す必要がある			林道の維持管理は市の役割であるため妥当である。				
性評価	対象	東・意図の妥			■ 適切である □ 対象を見直す必要がある			り、対象及び息凶は週辺である。				
	·成	県の向上余 歩 果指標の現状 せることができ	水準まで向	□ 意図を見直す必要がある ■ 向上余地はない (十分に成果が出ている)			林道の はない。	幾能及び安全の約	性持が目的で	あるため、向上の余地		
有効性	効 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの					□ 向上余地がある ■ 影響がある			つながる。			
評価			焼合・連携		■ 他に手	段がな	l, I		(他に手段	とがある場合(の事務事業名等)	
	・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?					他に手段がある □ 統合できない □ 連携できない □ 統合できる □ 連携できる						
C 効	·成		余地 事業費を削減 よの適正化、住		■ 削減分				で付税対象となる その削減を図って		ナるなど、土木課と連携	
率性評価	・や を削 ・成	の方を工夫し [*] 減できないか	務時間)の に て事務事業に い? に職員以外の対	■ 削減余地がない □ 削減余地がある			簡易な維持管理については職員で対応しているが、これ以上 の経費削減は適正な林道の維持管理上、困難である。					
D公平性評価	·事 不么	業の内容が一 、平ではないた	 負担の適正 -部の受益者に か? 公平公正になっ	こ偏っていて		公平・公正である 受益者は森林所有者、作業従事者及び林道等利用り、林道管理は市となっているため公平・公正である。						
総			長)としての		v m 4 × + 2	(2)全	体総括(振	り返り、反	省点)			
JANGS.		l的妥当性 ī効性	■ 適切■ 適切	□ 見直す必				通行に支障があるとの理由で草払いの依頼があり、市から業者にいる。そのほか、林道舗装の凹凸等の改善要望があるため、その				
括		率性	■適切	□ 見直す必			修等を行っ		おが、外担舗袋の	凹凸等の改	音安室がめるにめ、ての	
		· 平性	■ 適切	□ 見直す必 ■	必要がある							
		う向性 < PL Block No.	AN > 今後の方向	M-			/ 2 \ 時を : L で	7.1+/+:L=	べきとした場合	Д		
(1)				1生 ·当性①②、有	が外のの約	出用门	(2)廃止》	(IAWIT 9	へらていた場合	り正田		
			[目的妥 [目	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果	効性⑤の絹 の結果]							
	□ 効率		早向上) [有 .卜削減) [効 [公		吉果]							
	■現物	t維持·継続	⇒(3)具体的	的な改善計画	は不要							
		な改善計画		(1)のチェック						5		
	+ 1) <u>1</u> (22	ド 皮の取組	み概要及び	# 州1 寸さ 化る交	JJ未	<u> 平成</u>	23年度に見	Xソ組むべ	き具体的な内容			